

# 第2回 今治市子ども・子育て会議

平成26年2月27日（木） 15:00～

今治市総合福祉センター1階 会議室

## 【会次第】

1 会長挨拶

2 議 題

(1) 今治市子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査結果について

(2) 今治市子ども・子育て会議教育・保育部会の設置について

3 その他

# 資料1

## ニーズ調査集計表

市町名 **今治市**

調査母体数	3000
有効回答数	1332
回収率	44.4%

次の問についての回答数を記載して下さい。

※設問の後の( )内には、国の調査表(案)の設問番号を入れてあります。

<b>1 子どもの保護者の現在の就労状況(問12)</b>	
<b>(1) 母親(問12(1))</b>	
① フルタイムで就労しており、産休、育休、介護休業中ではない	268
② フルタイムで就労しているが、産休、育休、介護休業中である	64
③ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	352
④ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	16
⑤ 以前は就労していたが、現在は就労していない	464
⑥ これまで就労したことがない	73
<b>(2) 父親(問12(2))</b>	
① フルタイムで就労しており、産休、育休、介護休業中ではない	1064
② フルタイムで就労しているが、産休、育休、介護休業中である	0
③ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	10
④ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0
⑤ 以前は就労していたが、現在は就労していない	11
⑥ これまで就労したことがない	0
<b>2 問1(1)及び(2)で⑤又は⑥に○を付けた場合、就労したいという希望はありますか</b>	
<b>(1) 母親(問14(1))</b>	
① 子育てや家事などに専念したい	144
② 1年より先、1番下の子が〇〇歳になったところに就労したい	254
③ すぐにも、若しくは1年以内に就労したい	128
<b>(2) 父親(問14(2))</b>	
① 子育てや家事などに専念したい	0
② 1年より先、1番下の子が〇〇歳になったところに就労したい	0
③ すぐにも、若しくは1年以内に就労したい	9
<b>3 子どもが、現在、幼稚園や保育所等の「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか(問15)</b>	
<b>(1)</b>	
① 利用している	794
② 利用していない	532
<b>(2) 平日、どのような教育・保育事業を利用していますか(問15-1)</b>	
① 幼稚園	326
② 幼稚園の預かり保育	61
③ 認可保育所	382
④ 認定こども園	26
⑤ 家庭的保育	6
⑥ 事業所内保育施設	14
⑦ 自治体の認証・特定保育施設	28
⑧ その他の認可外保育施設	11
⑨ 居宅訪問型保育	0
⑩ ファミリー・サポート・センター	10
⑪ その他	13
<b>(3) 現在利用している教育・保育事業の実施場所</b>	
① 居住している市町内	760
② 他の市町	19

4	(1) 子どもの平日の教育・保育の事業として、定期的に利用したいと考える事業はどれですか(問16)	
	① 幼稚園	814
	② 幼稚園の預かり保育	298
	③ 認可保育所	555
	④ 認定こども園	126
	⑤ 家庭的保育	56
	⑥ 事業所内保育施設	50
	⑦ 自治体の認証・特定保育施設	51
	⑧ その他の認可外保育施設	14
	⑨ 居宅訪問型保育	13
	⑩ ファミリー・サポート・センター	100
	⑪ その他	76
	(2) 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか(問16-1)	
	① 居住している市町内	1252
	② 他の市町	38

5	現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか(問17)	
	① 地域子育て支援拠点事業を利用している	225
	② その他自治体で実施している類似事業を利用している	44
	③ 利用していない	1001

6	地域子育て支援拠点事業を、今は利用していないが、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか(問18)	
	① 利用していないが、今後利用したい	358
	② すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	123
	③ 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	721

7	土曜日と日曜・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(問20)	
	(1) 土曜日(問20(1))	
	① 利用する必要はない	734
	② ほぼ毎週利用したい	288
	③ 月に1~2回は利用したい	278
	(2) 日曜・祝日(問20(2))	
	① 利用する必要はない	1032
	② ほぼ毎週利用したい	33
	③ 月に1~2回は利用したい	239

8	幼稚園利用者について、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望(問21)	
	① 利用する必要はない	105
	② 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	101
	③ 休みの期間中、週に数回利用したい	117

9	(1) 平日、定期的な教育・保育の事業を利用している場合に、この1年間に子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか(問22)	
	① あった	555
	② なかった	210
	(2) 上記(1)で①と回答した場合に、子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかった場合、この1年間に行った対処方法はどれか(問22-1)	
	ア 父親が休んだ	72
	イ 母親が休んだ	409
	ウ 親族・知人に子どもを見てもらった	229
	エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	104
	オ 病児・病後児の保育を利用した	0
	カ ベビーシッターを利用した	0
	キ ファミリー・サポート・センターを利用した	8
	ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	7
	ケ その他	6

(3) 上記(2)でア又はイに回答した場合に、病児・病後児保育施設等を利用したいと思いましたが(問22-2)

- ① 利用したい
- ② 利用したいとは思わない

145

273

10 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか(問23)

- ① 一時預かり
- ② 幼稚園の預かり保育
- ③ ファミリー・サポート・センター
- ④ 夜間養護等事業:トワイライトステイ
- ⑤ ベビーシッター
- ⑥ その他
- ⑦ 利用していない

76

77

17

-

0

15

1124

11 小学校低学年のうち、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思えますか(問26)

- ① 自宅
- ② 祖父母宅や友人・知人宅
- ③ 習い事
- ④ 児童館
- ⑤ 放課後子ども教室
- ⑥ 放課後児童クラブ
- ⑦ ファミリー・サポート・センター
- ⑧ その他

85

24

59

7

2

62

0

12

12 小学校高学年になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思えますか(問27)

- ① 自宅
- ② 祖父母宅や友人・知人宅
- ③ 習い事
- ④ 児童館
- ⑤ 放課後子ども教室
- ⑥ 放課後児童クラブ
- ⑦ ファミリー・サポート・センター
- ⑧ その他

101

26

86

5

3

26

0

12

参考・本格施行までの現時点での想定イメージ(平成27年度施行を想定) → 国で実施 → 自治体で実施

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
主な動き (想定)			4月 消費税8%引き上げ 保育緊急確保事業実施	本格施行(注1) 10月 消費税10%に引き上げ(注2)
基本指針・事業計画		会議等での検討 市町村・都道府県事業計画の検討		
認可基準(幼保連携型 認定こども園)・ 確認基準		会議等での検討	条例の検討	認可・確認事務
保育の必要性の 認定基準		会議等での検討		認定事務
公定価格	実態調査	実態調査、会議等での検討	骨格、仮単価の提示 意向調査、予算要求 利用者負担の設定	
市町村事業		会議等での検討	条例(注3)の検討	届出受理・事業実施準備
幼保連携型認定こども園 保育要領(仮称)		関係審議会等での検討	ガイドライン等の策定	認定こども園職員に対する研修等
保育緊急確保事業		対象事業、要綱等の検討 保育計画の改定 (特定市町村)	保育緊急確保事業の実施	
実施体制	子ども・子育て支援新制度施行準備室(内閣府)	自治体において準備組織を設置		子ども・子育て本部(内閣府) 一元の実施体制を整備

子ども子育て会議設置  
地方版も順次設置

(注1) 本格施行の時期については、実際の消費税率引き上げ時期を踏まえて検討。  
 (注2) 消費税率の引き上げは、経済状況の好転が条件とされている。  
 (注3) 地域子ども・子育て支援事業の関係では、放課後児童健全育成事業の基準を条例で定める必要がある。

今治市 子ども・子育て支援事業における  
ニーズ調査

**【結果報告書】**

平成 26 年 2 月

今治市

# 目 次

---

<b>I. 調査の概要</b> .....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
<b>II. 調査結果</b> .....	3
1 あて名のお子さんご家族の状況について.....	4
2 子どもの育ちをめぐる環境について.....	7
3 保護者の就労状況について.....	11
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用について.....	18
5 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	27
6 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	32
7 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）.....	35
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	40
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	45
10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	50
11 子育て全般について.....	56
12 子育てを支援する生活環境の整備について.....	58
13 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について.....	60
14 行政への要望について.....	63

# I . 調査の概要

---



# 1 調査の目的

本調査は、平成26年度に行う「子ども・子育て支援事業計画」の策定資料として、保育ニーズや今治市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、市民意向調査（アンケート調査）として実施しました。

## 2 調査概要

- 調査地域：今治市全域
- 調査対象者：今治市内在住の「就学前児童」のいる世帯・保護者
- 抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童3,000人を無作為抽出  
(対象児童数5,586人：平成25年9月30日現在)
- 調査期間：平成25年11月13日(水)～平成25年11月27日(水)
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	3,000	1,332	44.4%

## 3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長文は簡略化している場合があります。

## Ⅱ. 調査結果

---

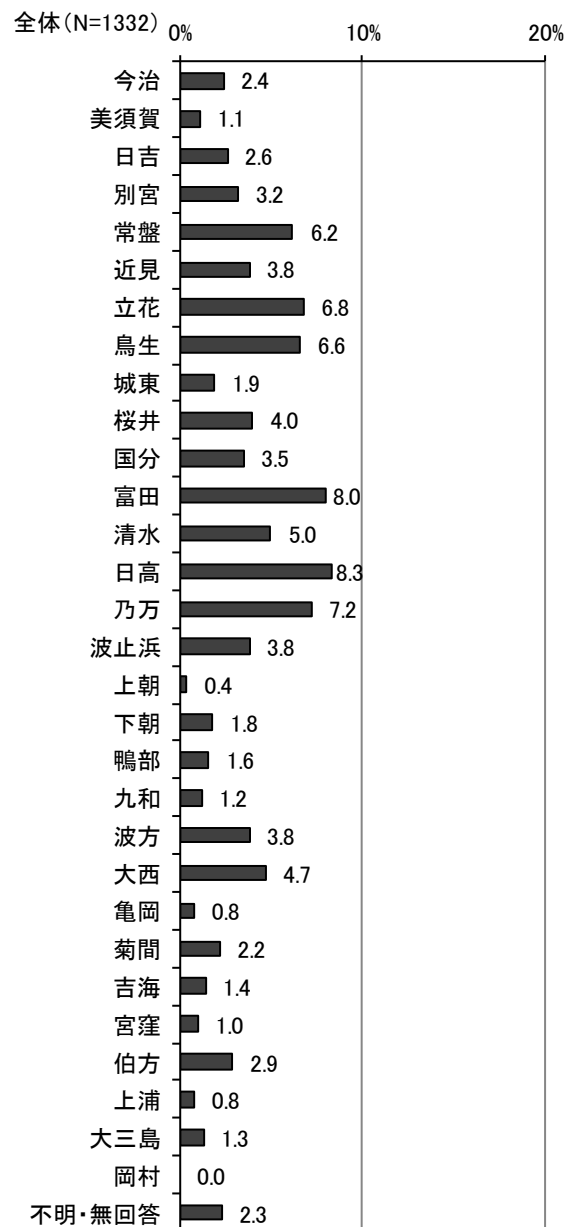
# 1 あて名のお子さんをご家族の状況について

○調査対象の子ども的人数は「2人」が41.8%となっており、兄弟姉妹のいる家庭が多いことがうかがえます。

○子育てを主に行っている方について、「父母ともに」が50.4%と最も高く、両親が子育てに関わっている家庭が多い一方で、「主に母親」が46.9%となっており、母親に子育ての負担がかかっている家庭も多くなっています。

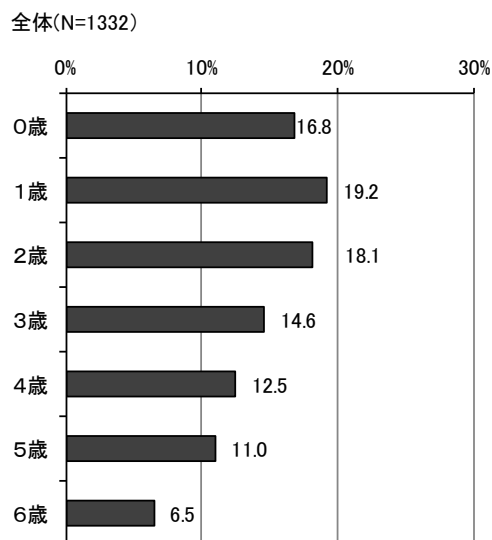
## (1) お住まいの小学校区〈単数回答〉〔問1〕

お住まいの小学校区についてみると、「日高」が8.3%、次いで「富田」が8.0%となっています。



## (2) 対象の子どもの年齢(平成25年11月1日現在)〈数量回答〉〔問2〕

年齢についてみると、1歳が19.2%、2歳が18.1%、0歳が16.8%となっています。

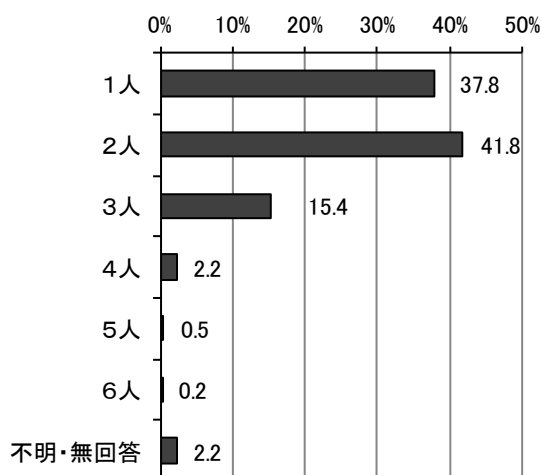


## (3) 子どもの人数〈数量回答〉〔問3〕

子どもの人数についてみると、「2人」が41.8%と最も高く、次いで、「1人」が37.8%となっています。

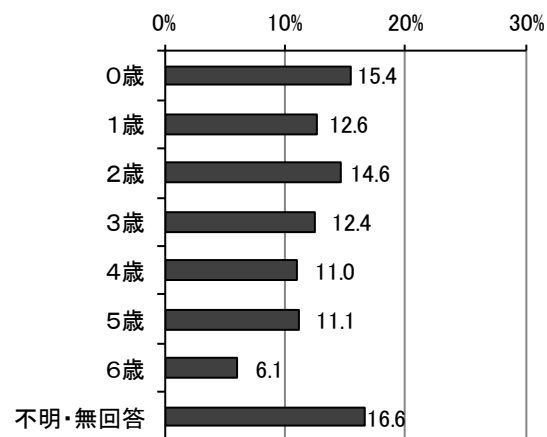
子どもが2人以上いる場合の末子の年齢についてみると、「0歳」から「5歳」までいずれも約1割となっています。

全体(N=1332)



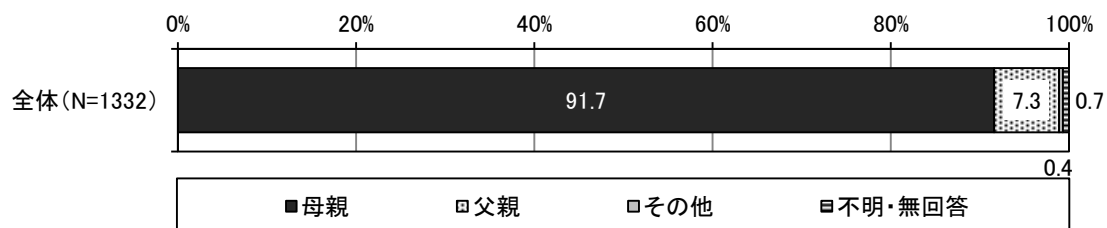
### ◎子どもが2人以上いる場合の末子の年齢(平成25年11月1日現在)〈数量回答〉

全体(N=799)



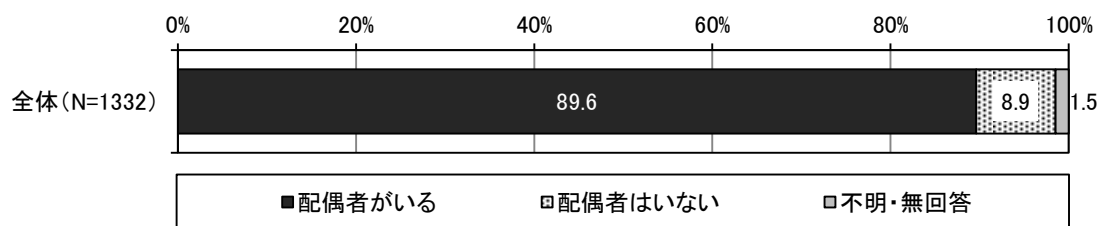
#### (4) 調査票の回答者〈単数回答〉〔問4〕

回答者についてみると、「母親」が91.7%と最も高く、大部分を占めています。



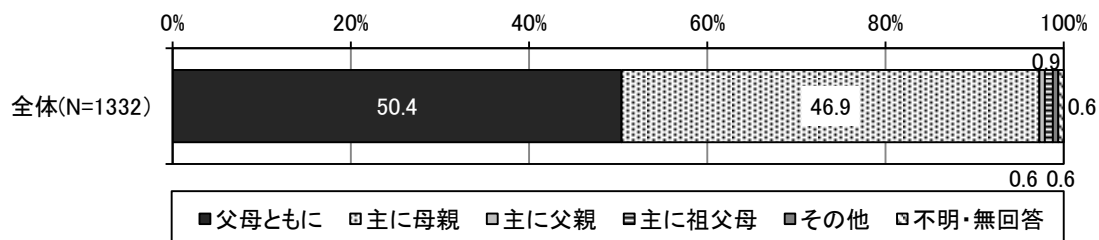
#### (5) 調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔問5〕

回答者の配偶関係の有無についてみると、「配偶者がいる」が89.6%となっています。



#### (6) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔問6〕

子育てを主に行っている方についてみると、「父母ともに」が50.4%と最も高く、次いで、「主に母親」が46.9%となっています。

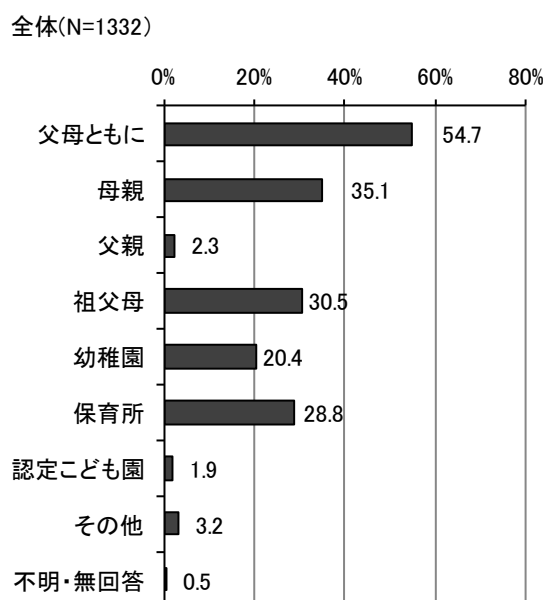


## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

○日頃、子どもをみてもらえる親族・知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.5%となっており、その状況について、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が59.0%となっています。また、子育てについて気軽に相談できる先について、「祖父母等の親族」が88.0%となっており、祖父母等の親族に子育てを支えてもらっていることがうかがえます。

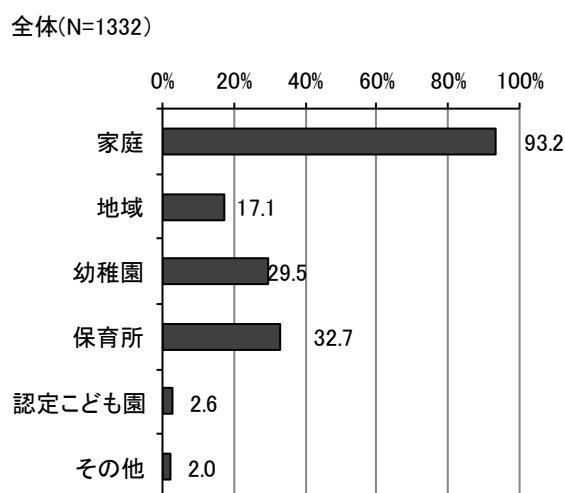
### (1) 子育てに日常的に関わっている方(施設)〈複数回答〉〔問7〕

子育てに日常的に関わっている方(施設)についてみると、「父母ともに」が54.7%と最も高くなっています。次いで、「母親」が35.1%となっています。



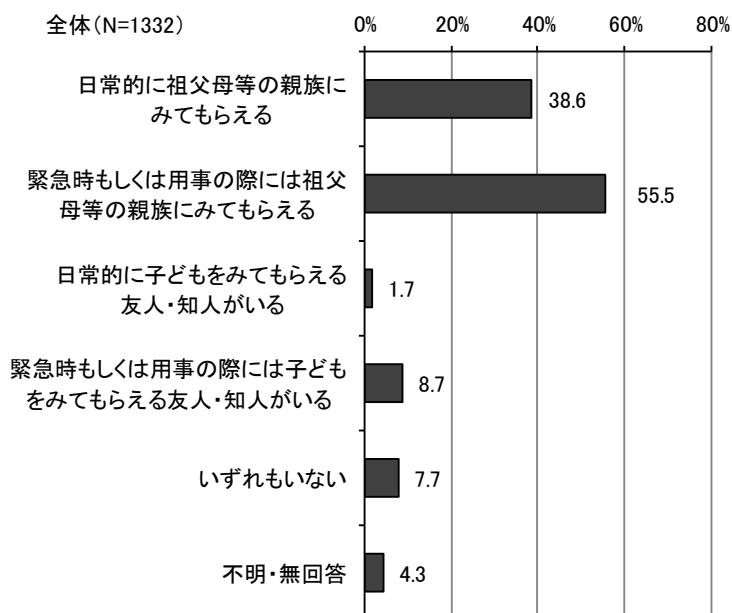
### (2) 子育てや教育に影響すると思われる環境〈複数回答〉〔問8〕

子育てにもっとも影響すると思われる環境についてみると、「家庭」が93.2%と最も高くなっています。次いで、「保育所」が32.7%となっています。



### （3）日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉〔問9〕

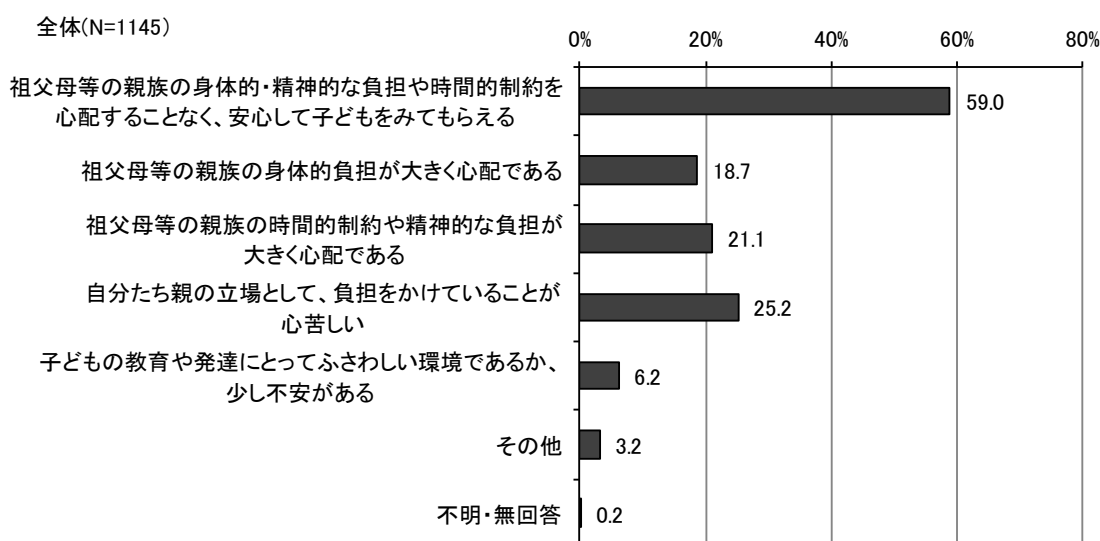
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が38.6%となっています。



（3）で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

#### （3）－1 祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉〔問9－1〕

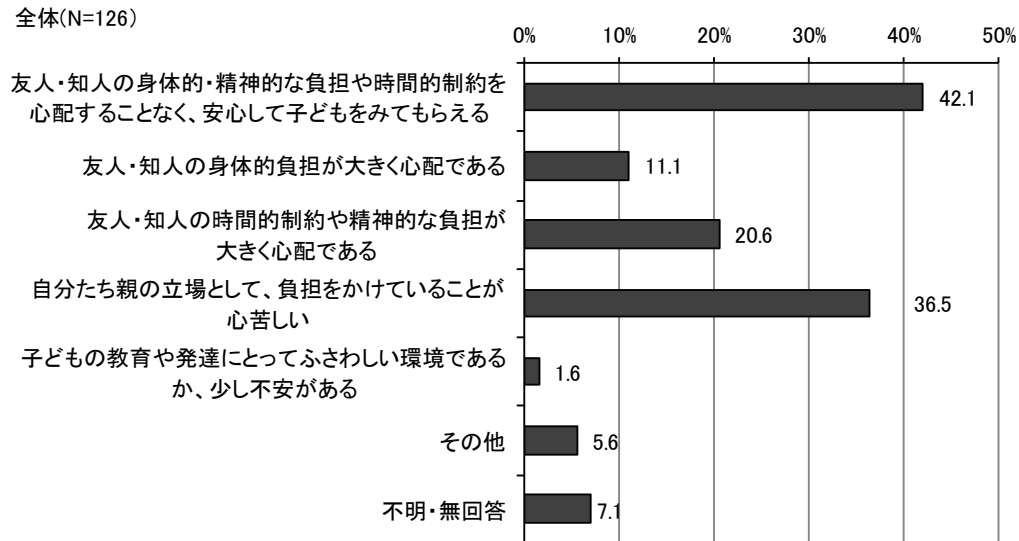
祖父母等の親族にみてもらっている状況についてみると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が59.0%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.2%となっています。



(3)で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方

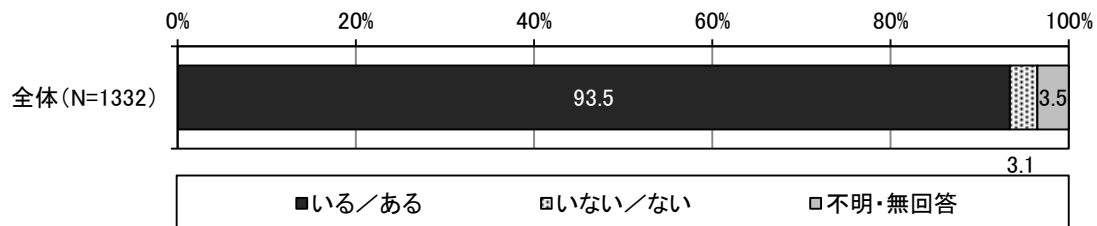
**(3) - 2 友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉** [問9-2]

友人・知人にみてもらっている状況についてみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が42.1%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が36.5%となっています。



**(4) 子育てをする上での相談相手や相談できる場所の有無〈単数回答〉** [問10]

子育てをする上での相談相手(場所)の有無についてみると、「いる/ある」が93.5%となっています。

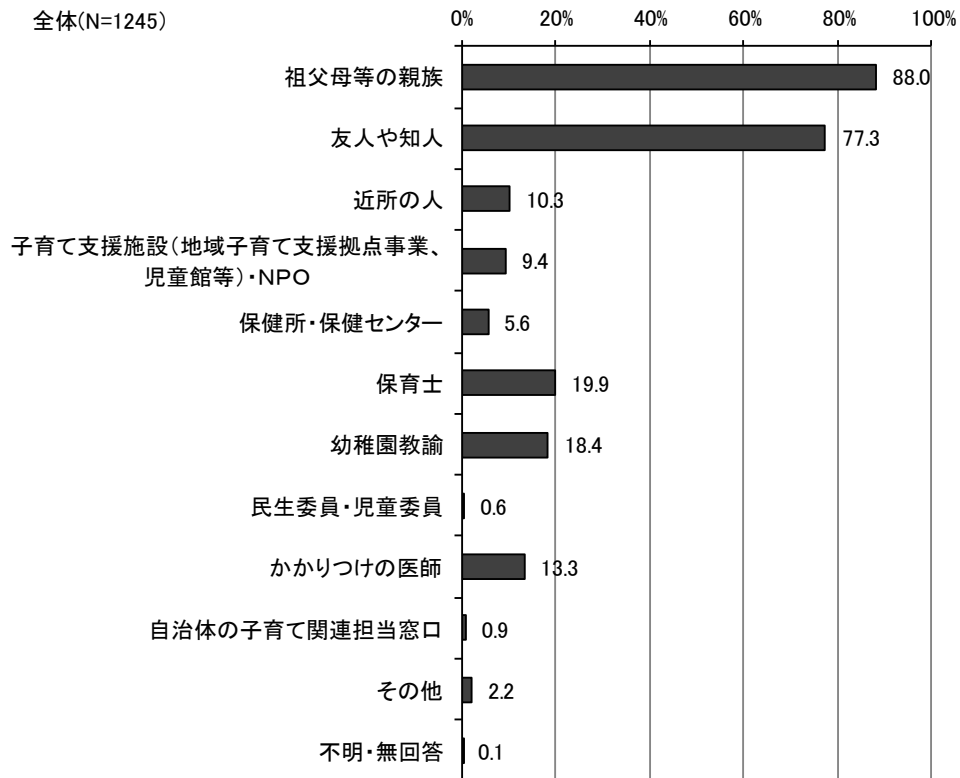




(4)で「いる／ある」を選んだ方

(5) 気軽に相談できる先〈複数回答〉〔問 10-1〕

気軽に相談できる先についてみると、「祖父母等の親族」が88.0%、次いで「友人や知人」が77.3%となっています。



### 3 保護者の就労状況について

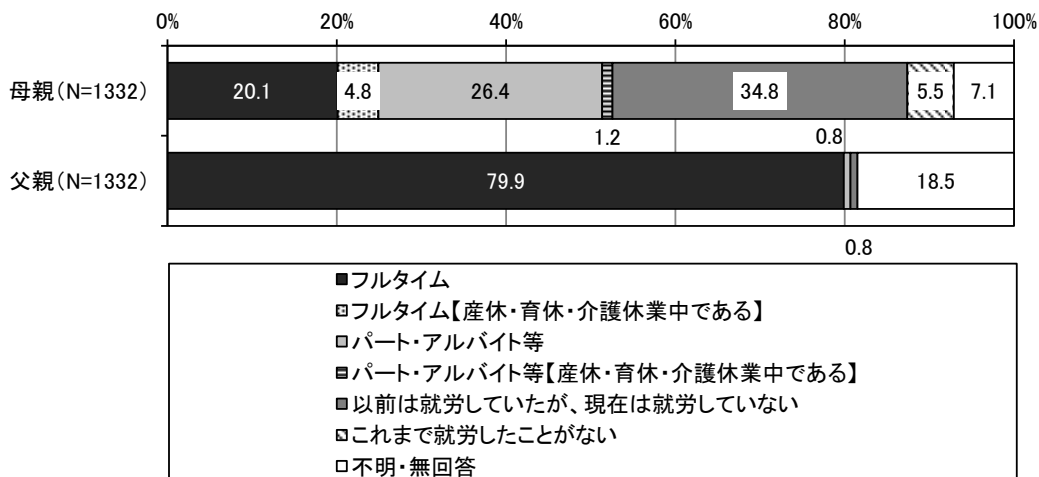
○保護者の就労状況について、母親では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が34.8%、父親では「フルタイム」が79.9%と最も高く、父親のフルタイムの状況について、就労日数は「6日」、就労時間は「8時間」が高くなっています。

○パート・アルバイト等で働いている母親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が58.7%となっています。また、現在、就労していない方の就労希望について、「1年より先、一番下の子どもが3歳になったところに就労したい」が高くなっており、就労形態に関わらず就労を継続・希望している母親が多いことがうかがえます。このことから、希望に合わせた就職先を紹介できる仕組みづくりが求められると考えられます。

○出産前後に離職した方について、仕事と家庭の両立を支援する「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」が37.7%となっている一方で、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が31.3%となっており、制度の周知と子育てをしながら働ける環境づくりを企業側へ働きかけることが重要となっています。

#### (1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔問12〕

保護者の就労状況についてみると、母親では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が34.8%と最も高くなっています。父親では「フルタイム」が79.9%と最も高くなっています。



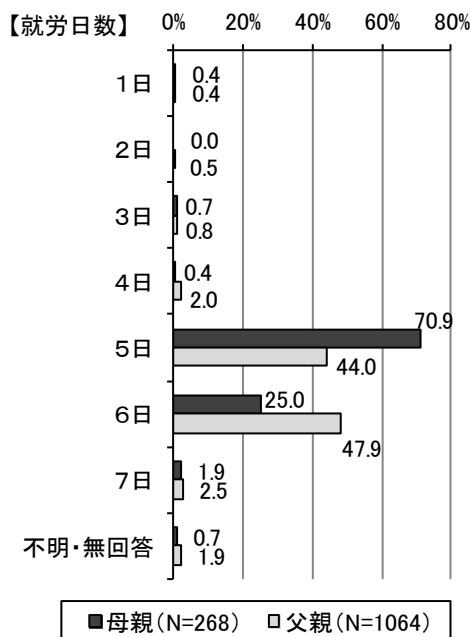
\* 「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労  
「パート・アルバイト等」：フルタイム以外の就労

## ●フルタイムで就労している保護者の状況

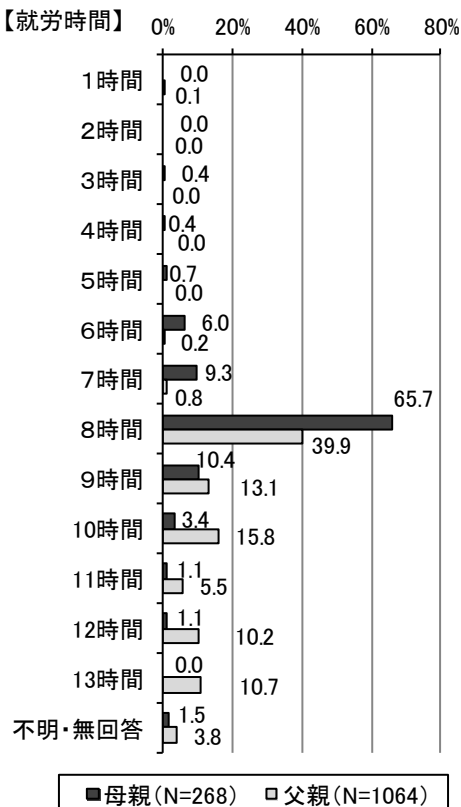
フルタイムで就労している保護者の状況についてみると、1週当たりの就労日数では、母親では「5日」、父親では「6日」の割合が最も高くなっています。

1日当たりの就労時間では、母親・父親ともに「8時間」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

### ① 1週当たりの就労日数・フルタイム〈数量回答〉



### ② 1日当たりの就労時間・フルタイム〈数量回答〉



出発時間では、母親・父親ともに「7～8時台」の割合が最も高くなっています。

帰宅時間についても、母親・父親ともに「17～18時台」の割合が最も高くなっています。

### ③ 出発時間・フルタイム〈数量回答〉

出発時間	母親 (N=268)		父親 (N=1064)	
	件数	%	件数	%
1～2時台	0	0.0	1	0.1
3～4時台	0	0.0	8	0.8
5～6時台	3	1.1	106	10.0
7～8時台	224	83.6	846	79.5
9～10時台	30	11.2	54	5.1
11～12時台	1	0.4	1	0.1
13～14時台	1	0.4	5	0.5
15～16時台	0	0.0	3	0.3
17～18時台	0	0.0	2	0.2
19～20時台	1	0.4	1	0.1
21～22時台	0	0.0	0	0.0
23～24時台	0	0.0	2	0.2
不明・無回答	8	3.0	35	3.3

### ④ 帰宅時間・フルタイム〈数量回答〉

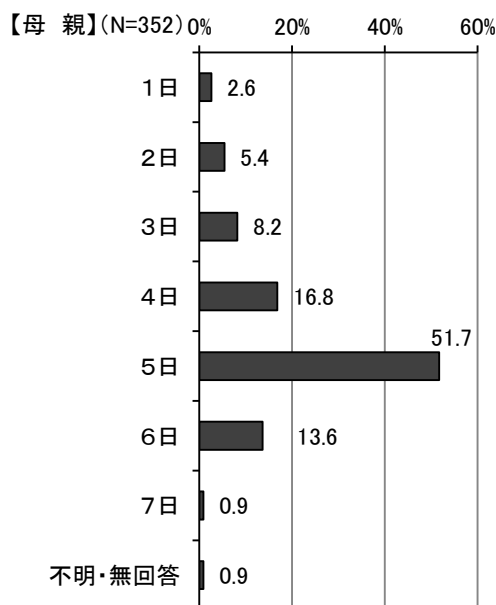
帰宅時間	母親 (N=268)		父親 (N=1064)	
	件数	%	件数	%
1～2時台	1	0.4	4	0.4
3～4時台	0	0.0	2	0.2
5～6時台	0	0.0	0	0.0
7～8時台	0	0.0	4	0.4
9～10時台	0	0.0	17	1.6
11～12時台	0	0.0	7	0.7
13～14時台	2	0.7	4	0.4
15～16時台	13	4.9	11	1.0
17～18時台	193	72.0	435	40.9
19～20時台	45	16.8	384	36.1
21～22時台	3	1.1	128	12.0
23～24時台	1	0.4	28	2.6
不明・無回答	10	3.7	40	3.8

## ●パート・アルバイト等で就労している保護者の状況

パート・アルバイト等で就労している保護者の状況についてみると、1週当たりの就労日数では、母親では「5日」が最も高く、父親では「4日」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

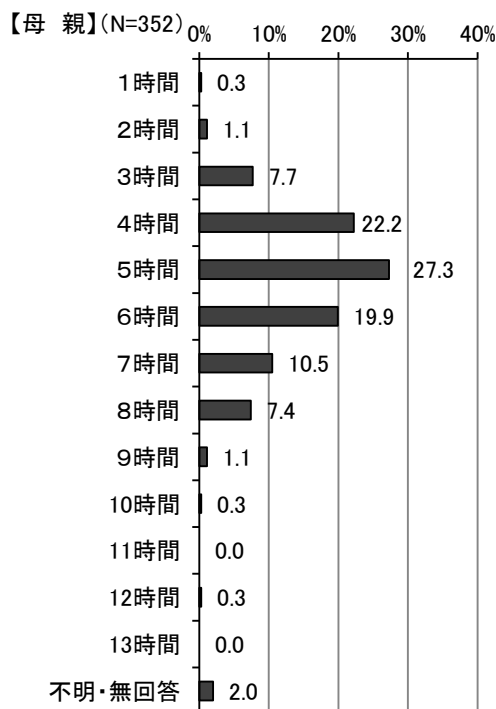
1日当たりの就労時間では、母親では「5時間」、父親では「8時間」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

### ① 1週当たりの就労日数・パート・アルバイト等〈数量回答〉



【父親】 就労日数	全体(N=10)	
	件数	%
1日	0	0.0
2日	2	20.0
3日	1	10.0
4日	3	30.0
5日	2	20.0
6日	2	20.0
7日	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

### ② 1日当たりの就労時間・パート・アルバイト等〈数量回答〉



【父親】 就労時間	全体(N=10)	
	件数	%
1時間	0	0.0
2時間	0	0.0
3時間	1	10.0
4時間	0	0.0
5時間	2	20.0
6時間	0	0.0
7時間	2	20.0
8時間	3	30.0
9時間	0	0.0
10時間	0	0.0
11時間	0	0.0
12時間	1	10.0
13時間	1	10.0
不明・無回答	0	0.0

出発時間では、母親では「7～8時台」、父親では「11～12時台」が最も高くなっています。  
 帰宅時間では、母親では「15～16時台」、父親では「19～20時台」が最も高くなっています。

③ 出発時間・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉

出発時間	母親(N=352)		父親(N=10)	
	件数	%	件数	%
1～2時台	1	0.3	0	0.0
3～4時台	0	0.0	0	0.0
5～6時台	2	0.6	1	10.0
7～8時台	196	55.7	2	20.0
9～10時台	107	30.4	2	20.0
11～12時台	11	3.1	3	30.0
13～14時台	6	1.7	1	10.0
15～16時台	4	1.1	0	0.0
17～18時台	3	0.9	1	10.0
19～20時台	1	0.3	0	0.0
21～22時台	3	0.9	0	0.0
23～24時台	1	0.3	0	0.0
不明・無回答	17	4.8	0	0.0

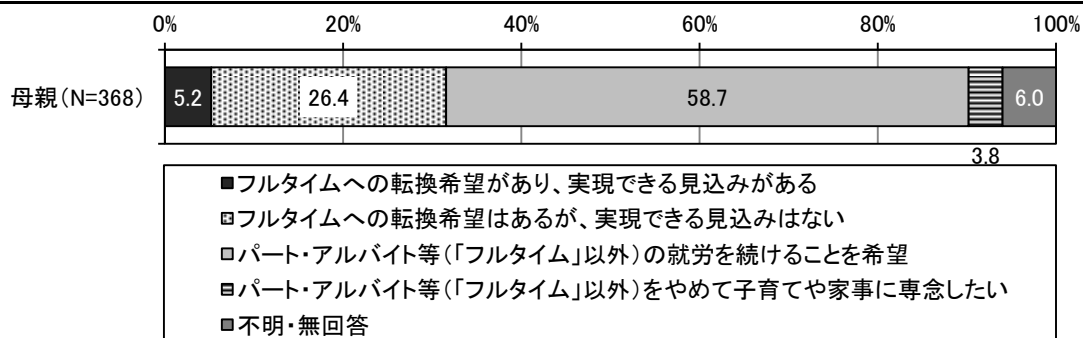
④ 帰宅時間・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉

帰宅時間	母親(N=352)		父親(N=10)	
	件数	%	件数	%
1～2時台	3	0.9	0	0.0
3～4時台	0	0.0	0	0.0
5～6時台	1	0.3	0	0.0
7～8時台	1	0.3	0	0.0
9～10時台	1	0.3	1	10.0
11～12時台	12	3.4	0	0.0
13～14時台	73	20.7	0	0.0
15～16時台	135	38.4	2	20.0
17～18時台	95	27	2	20.0
19～20時台	11	3.1	3	30.0
21～22時台	2	0.6	1	10.0
23～24時台	2	0.6	1	10.0
不明・無回答	16	4.5	0	0.0

(1) で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等【産休・育休・介護休業中】」を選んだ方  
 (2) パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

〔問 13〕

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が58.7%と最も高くなっています。

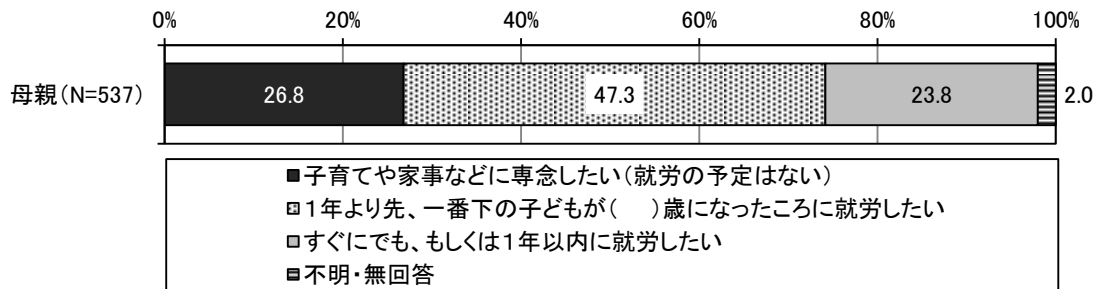


【父親】 フルタイムへの転換希望	全体 (N=10)	
	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	3	30.0
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	2	20.0
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0
不明・無回答	5	50.0

**(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選んだ方  
(3) 現在、就労していない方の就労希望〈単数回答〉〔問14〕**

現在就労していない方の就労希望についてみると、母親では「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」が47.3%と最も高くなっています。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかについては、母親では「3歳」が42.4%と最も高くなっています。

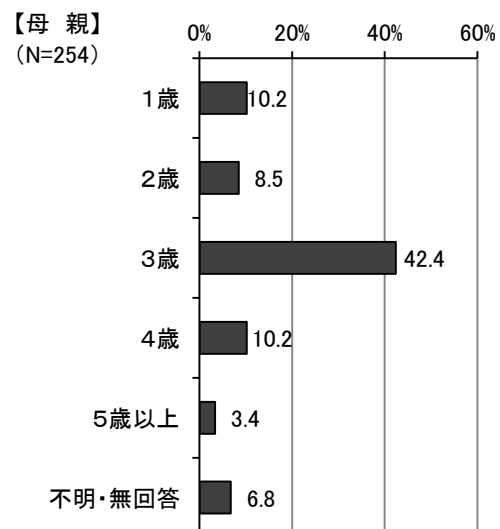


【父親】 就労希望	全体 (N=11)	
	件数	%
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0.0
1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい	0	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	9	81.8
不明・無回答	2	18.2

**①一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉**

《「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」を選んだ方》

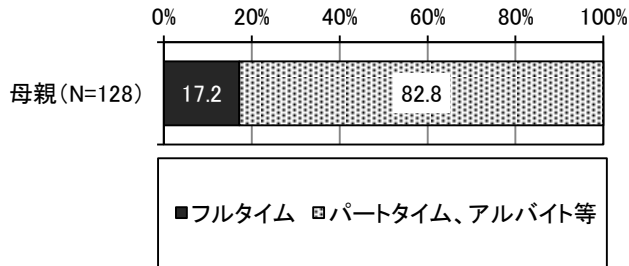
※父親の回答はありませんでした。



『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』方の希望する就労形態については、母親では「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が82.8%と最も高くなっています。

また、パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方の希望する1週当たりの就労日数については、母親では「5日」の割合が最も高くなっています。希望する1日当たりの就労時間では、母親では「5時間」の割合が最も高くなっています。

**②希望する就労形態〈単数回答〉《「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方》**



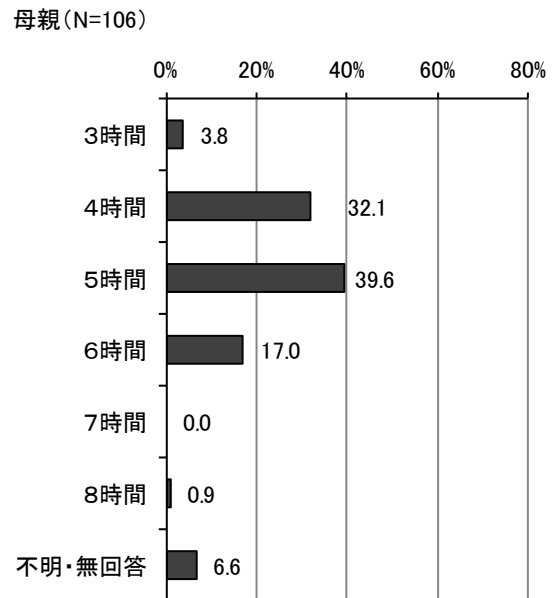
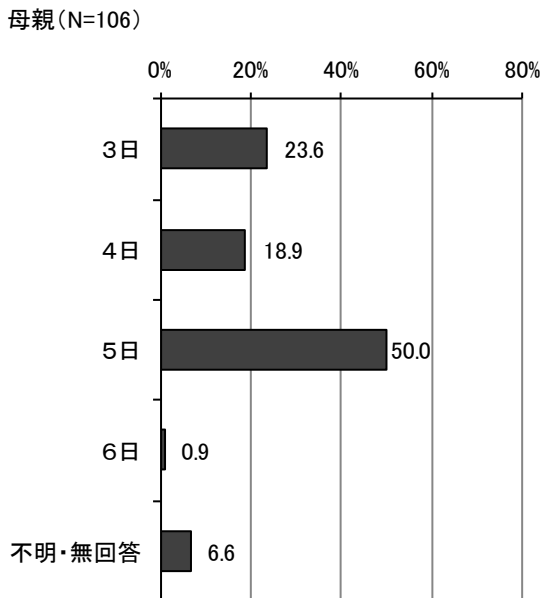
【父親】 希望する就労形態	全体 (N=9)	
	件数	%
フルタイム	7	77.8
パートタイム、アルバイト等	2	22.2
不明・無回答	0	0.0

**③パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉**

《②で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」を選んだ方》

■希望する1週当たりの就労日数

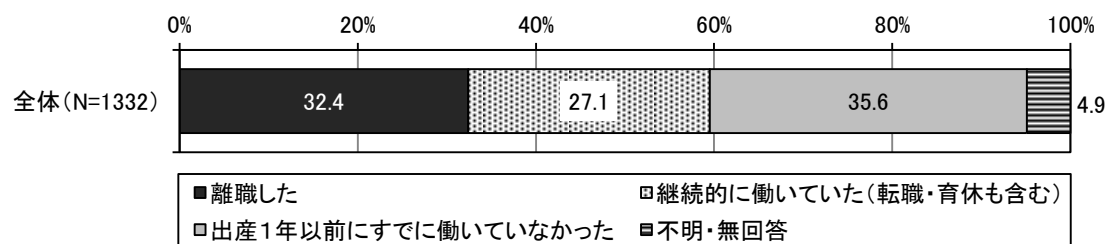
■希望する1日当たりの就労時間



※父親の就労希望日数は「3日」と「5日」に1件ずつ、就労時間では「6時間」「8時間」に1件ずつ回答がありました。

#### (4) 出産前後の離職の有無〈単数回答〉〔問 15〕

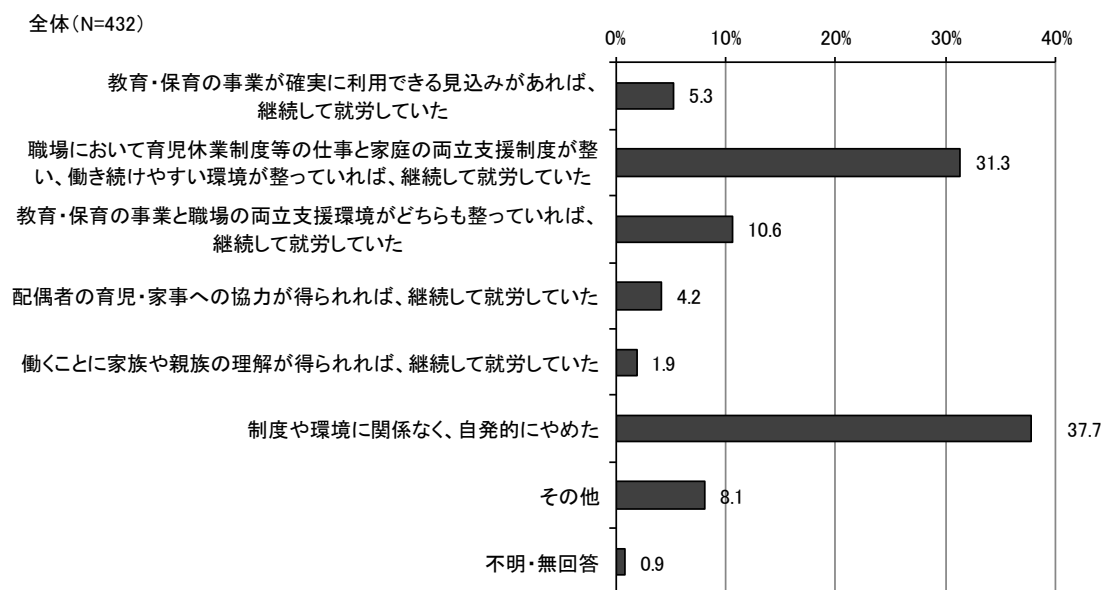
出産前後に離職をしたかについては、「出産1年以前にすでに働いていなかった」が35.6%と最も多くなっています。



#### (4) で「離職した」を選んだ方

#### (5) 仕事と家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続したか〈単数回答〉〔問 15-1〕

仕事と家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続したかについては、「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」が37.7%と最も多くなっています。





## 4 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

○現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無について、「利用している」が59.6%となっており、利用している事業については、「認可保育所」が48.1%、「幼稚園」が41.1%となっています。また、今後、定期的にご利用したい事業については、「幼稚園」が61.1%、「認可保育所」が41.7%となっており、幼稚園の利用を希望する方が多いことがうかがえます。

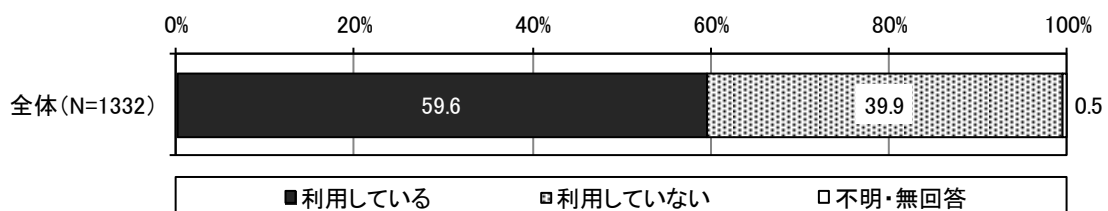
○事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」が61.3%と最も高く、「3歳」くらいになったら利用しようと考えられる方が多くなっています。また、父母のいずれかが就労していないため、「利用する必要がない」と答えられる方も47.7%となっています。

○現在は認可保育所を利用している方が半数近くを占めていますが、利用希望をみると幼稚園の利用希望が多くなっています。これは現在、教育・保育事業を利用している理由の中で「教育や発達のために利用している」という方が多いことが影響していると考えられます。

また、利用していない方についても3歳になれば利用したいという意向がみられます。「保護者の就労状況」の結果からもみられるように、3歳になれば、教育・保育事業を利用して子どもを預け、働きに出たいという保護者が多いことがわかります。

### (1) 現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉〔問16〕

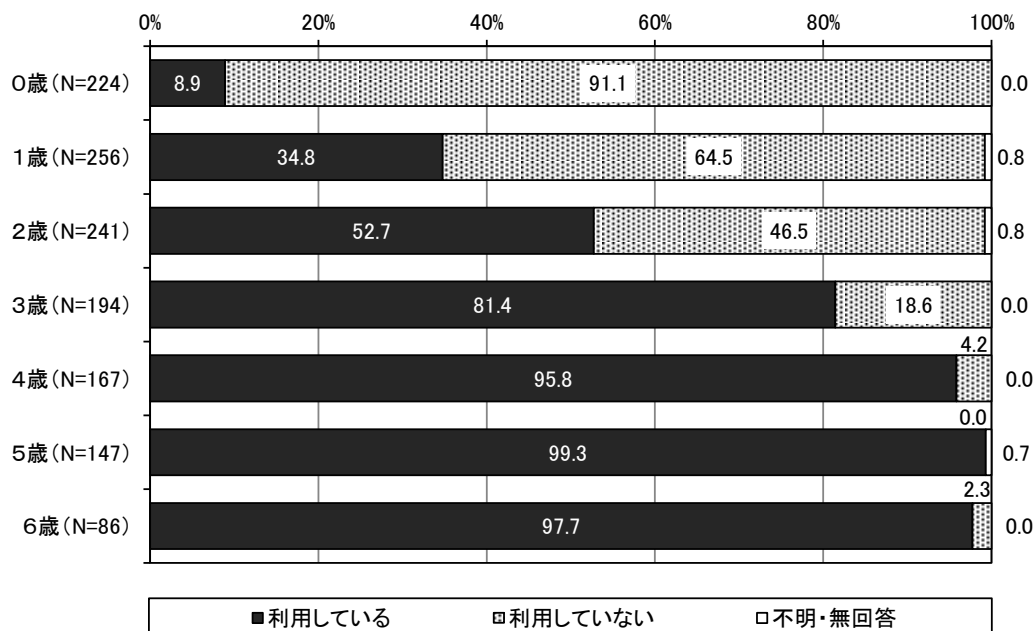
現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が59.6%となっています。



\*ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指す。具体的には、幼稚園や保育所など、(1) - 1 に示す事業が含まれる。

## 年齢別 × 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

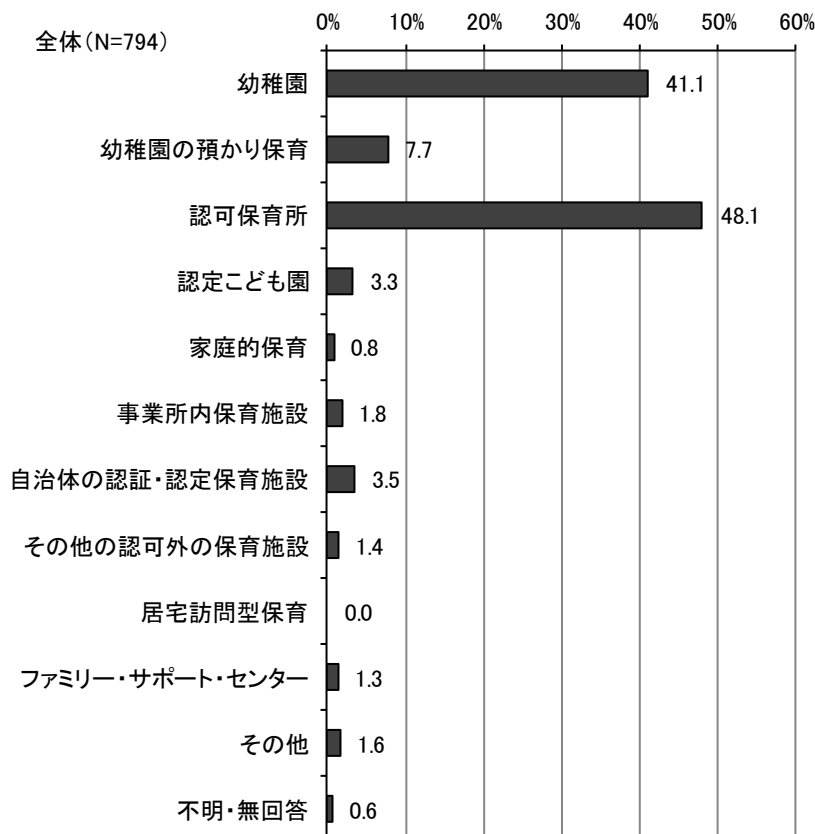
年齢別にみると、[3歳]以上で「利用している」割合が8割を超えています。また、[2歳]以上で「利用している」割合が「利用していない」割合を上回っており、年齢が上がるにつれて高くなっています。



### (1) で「利用している」を選んだ方

#### (1) - 1 平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉 [問 16-1]

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「認可保育所」が48.1%、「幼稚園」が41.1%となっています。

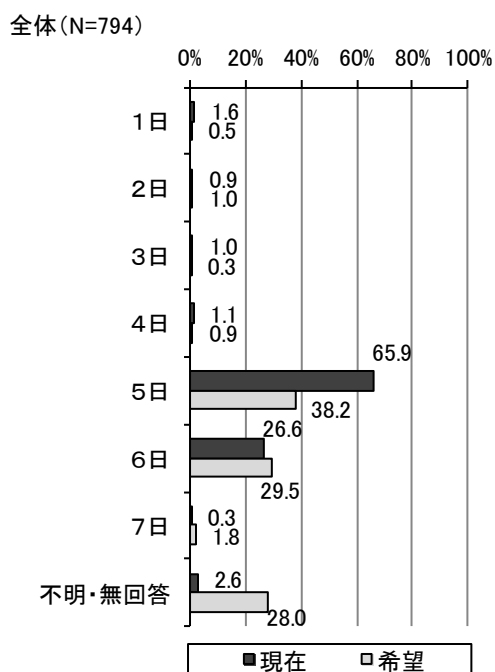


(1)で「利用している」を選んだ方

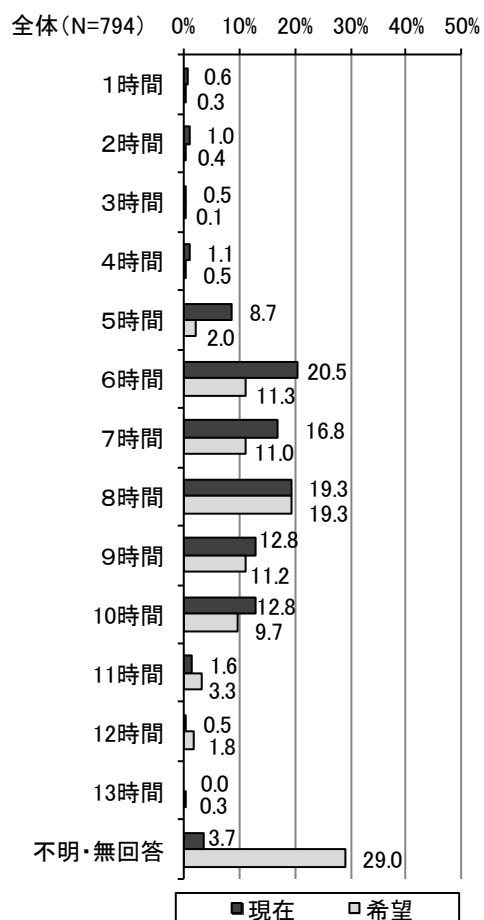
(1)－2 平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望〈数量回答〉〔問16-2〕

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週当たりの利用日数では、現在、希望ともに「5日」が最も高く、それぞれ65.9%、38.2%となっています。また、1日当たりの利用時間では、現在では「6時間」、希望では「8時間」が最も高く、それぞれ20.5%、19.3%となっています。

① 1週当たりの利用日数〈数量回答〉

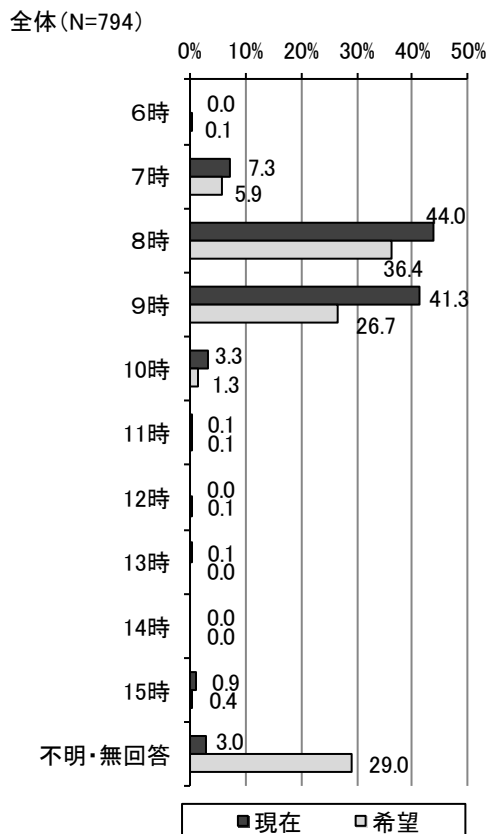


② 1日当たりの利用時間〈数量回答〉

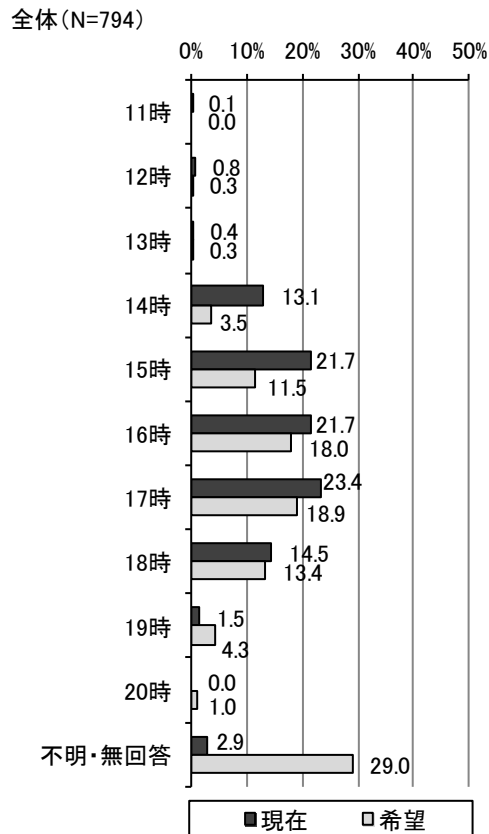


利用開始時間では、現在、希望ともに「8時」が最も高く、それぞれ44.0%、36.4%となっています。また、終了時間では、現在、希望ともに「17時」が最も高く、それぞれ23.4%、18.9%となっています。

### ③利用開始時間〈数量回答〉



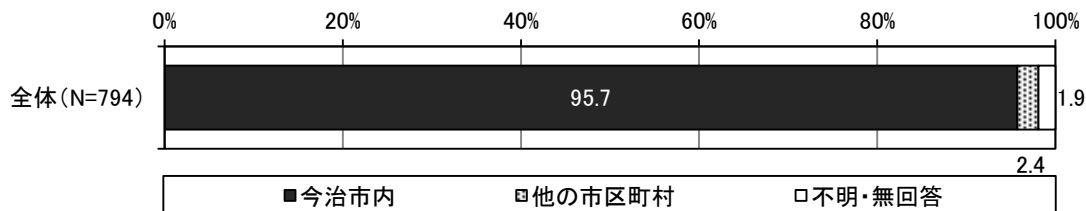
### ④利用終了時間〈数量回答〉



### (1)で「利用している」を選んだ方

#### (1)－3 平日、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉 [問16-3]

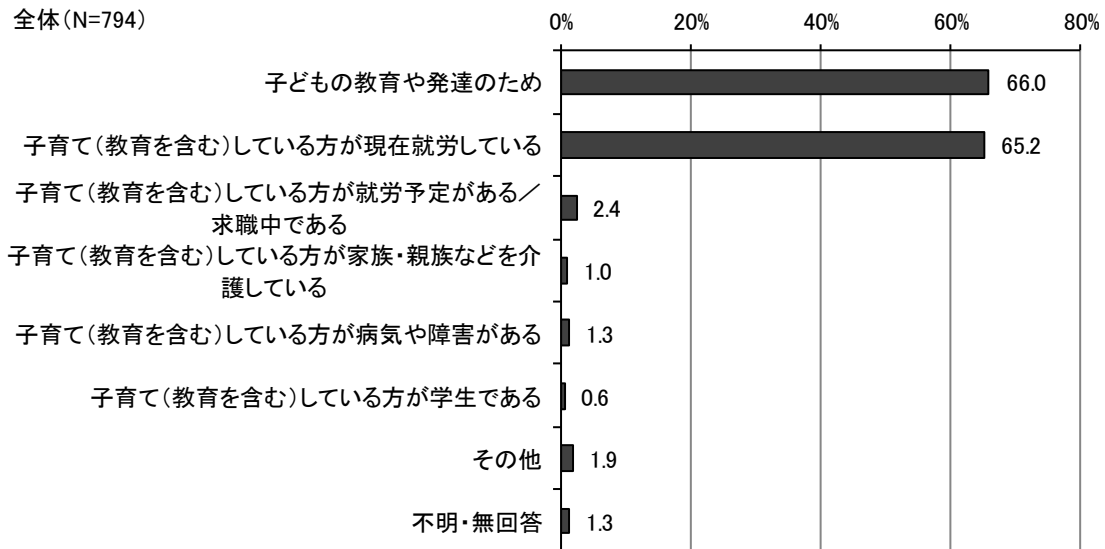
平日、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「今治市内」が95.7%と大部分を占めています。



**(1)で「利用している」を選んだ方**

**(1)－4 平日、教育・保育事業を利用している主な理由〈複数回答〉** [問 16-4]

平日、教育・保育事業を利用している主な理由についてみると、「子どもの教育や発達のため」が66.0%で最も高く、次いで「子育て（教育を含む）している方が現在就労している」が65.2%となっています。



**地区別 × 平日、定期的に教育・保育事業を利用している理由**

地区別にみると、「子どもの教育や発達のため」や「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」のどちらかの割合が高い地区がある一方、[大西][宮窪][上浦][大三島]では両方が同じの割合となっています。

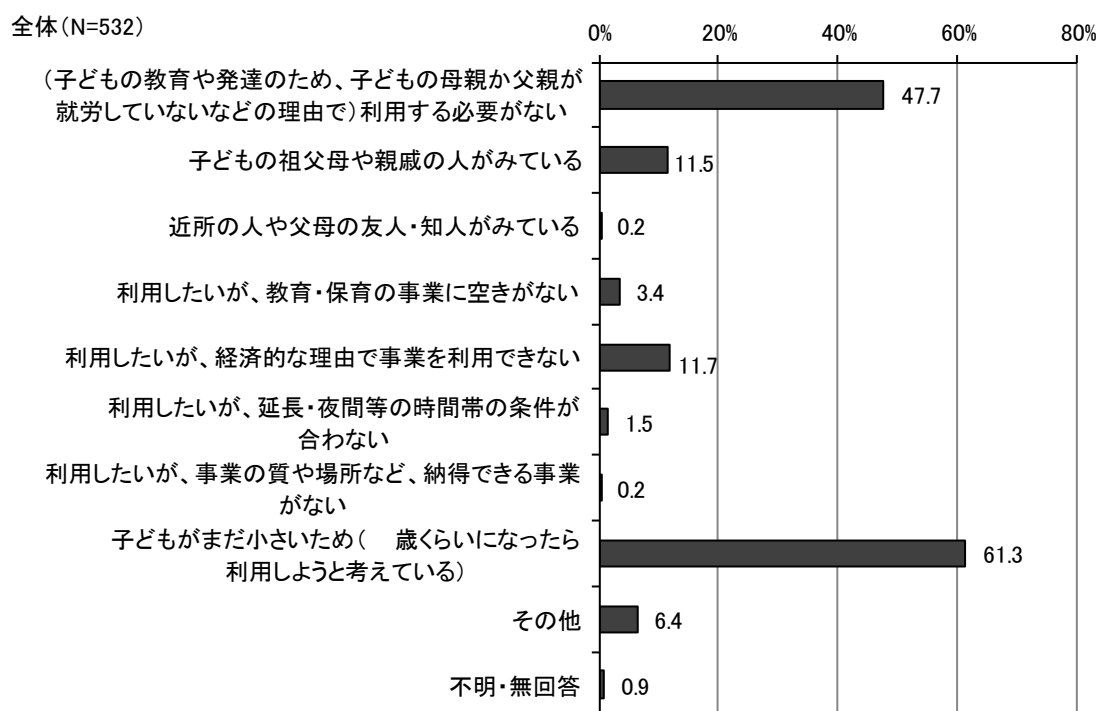
上段:度数 下段:%	合計	子どもの教育や発達のため	子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している	子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である	子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している	子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある	子育て(教育を含む)をしている方が学生である	その他	不明・無回答
合計	794 100.0	524 66.0	518 65.2	19 2.4	8 1.0	10 1.3	5 0.6	15 1.9	10 1.3
今治	20 100.0	13 65.0	14 70.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0
美須賀	8 100.0	8 100.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日吉	19 100.0	15 78.9	10 52.6	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
別宮	21 100.0	12 57.1	16 76.2	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
常盤	46 100.0	31 67.4	28 60.9	1 2.2	1 2.2	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
近見	33 100.0	18 54.5	23 69.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0
立花	50 100.0	33 66.0	37 74.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
鳥生	51 100.0	30 58.8	33 64.7	3 5.9	0 0.0	2 3.9	0 0.0	2 3.9	0 0.0
城東	19 100.0	15 78.9	10 52.6	1 5.3	0 0.0	1 5.3	0 0.0	1 5.3	0 0.0
桜井	30 100.0	17 56.7	24 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
国分	25 100.0	16 64.0	11 44.0	1 4.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	1 4.0
富田	64 100.0	39 60.9	46 71.9	0 0.0	2 3.1	1 1.6	1 1.6	2 3.1	3 4.7
清水	35 100.0	25 71.4	23 65.7	2 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
日高	70 100.0	50 71.4	40 57.1	1 1.4	0 0.0	0 0.0	1 1.4	1 1.4	0 0.0
乃万	63 100.0	34 54.0	46 73.0	2 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.2	0 0.0
波止浜	31 100.0	24 77.4	13 41.9	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.5	0 0.0
上朝	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
下朝	17 100.0	13 76.5	11 64.7	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
鴨部	16 100.0	10 62.5	11 68.8	1 6.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
九和	8 100.0	4 50.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
波方	37 100.0	28 75.7	20 54.1	1 2.7	0 0.0	1 2.7	2 5.4	2 5.4	0 0.0
大西	37 100.0	26 70.3	26 70.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.7	1 2.7
亀岡	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
菊間	17 100.0	11 64.7	12 70.6	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
吉海	11 100.0	6 54.5	10 90.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
宮窪	10 100.0	7 70.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
伯方	15 100.0	7 46.7	10 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0
上浦	4 100.0	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大三島	11 100.0	9 81.8	9 81.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
岡村	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
不明・無回答	19 100.0	14 73.7	12 63.2	0 0.0	1 5.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0	1 5.3

**(1)で「利用していない」を選んだ方**

**(1)－5 利用していない主な理由〈複数回答〉**〔問 16－5〕

平日、教育・保育事業を利用していない主な理由についてみると、「子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）」が61.3%と高くなっています。

また、子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとする時の子どもの年齢については、「3歳」が58.3%と最も高くなっています。



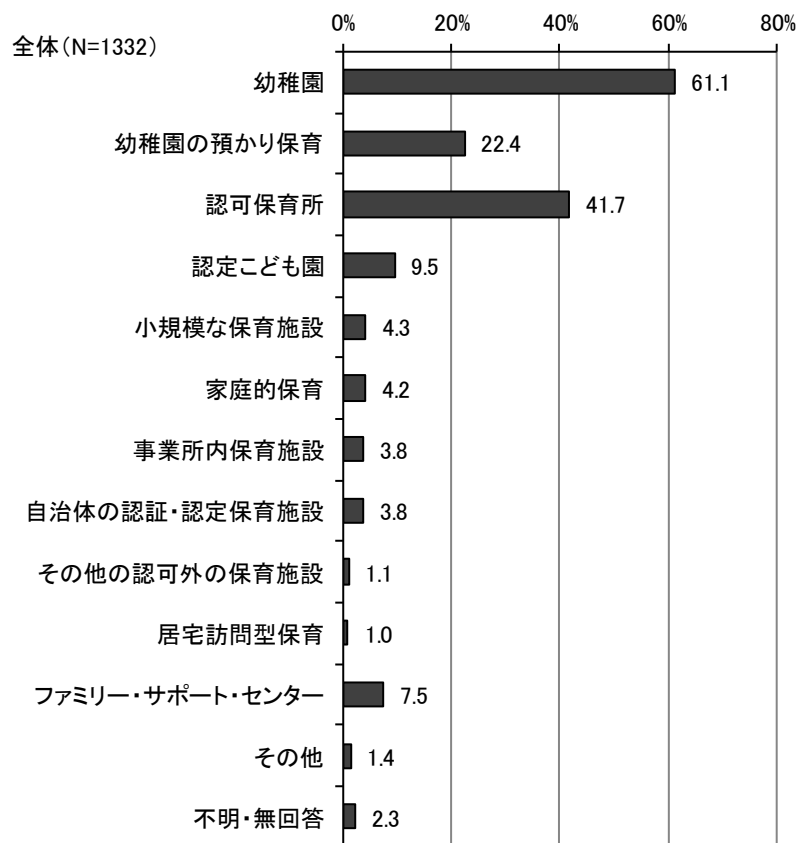
**◎利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉**

《「子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）」を選んだ方》

利用したい時の子どもの年齢	全体(N=326)	
	件数	%
1歳	49	15.0
2歳	38	11.7
3歳	190	58.3
4歳	30	9.2
5歳	1	0.3
不明・無回答	18	5.5

## (2) 現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」 利用したいと考える事業〈複数回答〉〔問17〕

今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業についてみると、「幼稚園」が61.1%で最も高く、次いで「認可保育所」が41.7%、「幼稚園の預かり保育」が22.4%となっています。



\*事業の利用には一定の利用者負担が発生する



## 年齢別 × 今後利用したい教育・保育事業

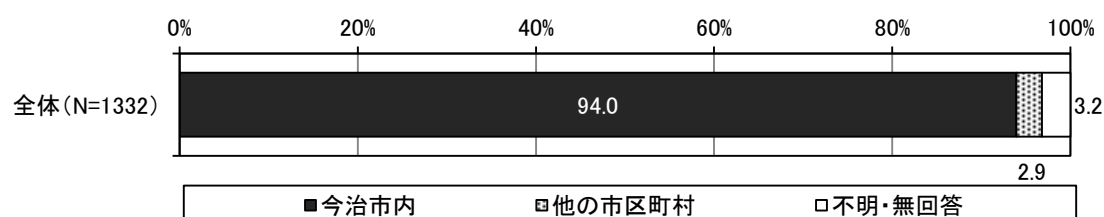
年齢別にみると、すべての年齢で「幼稚園」の割合が最も高くなっています。また、[0歳]から[5歳]までの「認可保育所」の割合が3～4割となっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
合計	1332 100.0	814 61.1	298 22.4	555 41.7	126 9.5	57 4.3	56 4.2	50 3.8
0歳	224 100.0	137 61.2	39 17.4	110 49.1	31 13.8	14 6.3	13 5.8	7 3.1
1歳	256 100.0	151 59.0	61 23.8	113 44.1	35 13.7	15 5.9	23 9.0	14 5.5
2歳	241 100.0	150 62.2	49 20.3	99 41.1	26 10.8	11 4.6	2 0.8	13 5.4
3歳	194 100.0	113 58.2	40 20.6	82 42.3	11 5.7	5 2.6	4 2.1	6 3.1
4歳	167 100.0	105 62.9	40 24.0	63 37.7	10 6.0	4 2.4	2 1.2	4 2.4
5歳	147 100.0	95 64.6	42 28.6	56 38.1	8 5.4	4 2.7	3 2.0	6 4.1
6歳	86 100.0	54 62.8	24 27.9	25 29.1	5 5.8	4 4.7	7 8.1	0 0.0

上段:度数 下段:%	合計	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミ リー・ サポート・ センター	その他	不明・ 無回答
合計	1332 100.0	51 3.8	14 1.1	13 1.0	100 7.5	19 1.4	30 2.3
0歳	224 100.0	16 7.1	3 1.3	2 0.9	25 11.2	5 2.2	3 1.3
1歳	256 100.0	13 5.1	4 1.6	3 1.2	21 8.2	2 0.8	2 0.8
2歳	241 100.0	6 2.5	3 1.2	1 0.4	14 5.8	2 0.8	6 2.5
3歳	194 100.0	5 2.6	1 0.5	1 0.5	8 4.1	3 1.5	7 3.6
4歳	167 100.0	2 1.2	0 0.0	2 1.2	17 10.2	4 2.4	4 2.4
5歳	147 100.0	5 3.4	3 2.0	3 2.0	9 6.1	1 0.7	3 2.0
6歳	86 100.0	4 4.7	0 0.0	1 1.2	5 5.8	2 2.3	3 3.5

### (2) - 1 教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉〔問17-1〕

教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「今治市内」が94.0%と大部分を占めています。



## 5 地域の子育て支援事業の利用状況について

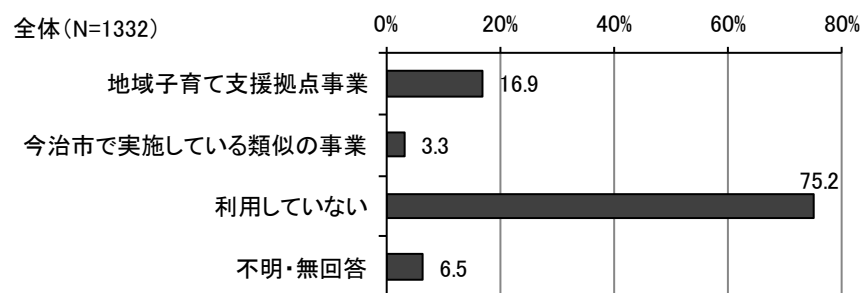
○地域子育て支援事業について、利用状況では「利用していない」が75.2%となっており、今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が54.1%となっており、利用意向の低さがうかがえます。

○現在実施している子育て支援事業については、認知度では「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が85.3%、「児童館」が84.9%と高くなっています。また、利用経験の有無では「子育てファミリー応援ショップ事業」が58.0%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が51.3%と高くなっています。事業の利用希望については、「子育てファミリー応援ショップ事業」が70.5%、「児童館」が65.2%となっており、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」「児童館」「子育てファミリー応援ショップ事業」が今後も多くの方に必要とされています。一方で、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」について、認知度・利用経験の有無・利用希望が低くなっているため、事業の充実・啓発が必要であるといえます。

### （1）現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況〈複数回答〉〔問18〕

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業」が16.9%、「今治市で実施している類似の事業」が3.3%となっています。一方、「利用していない」は75.2%となっています。

また、1週当たりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』、『今治市で実施している類似の事業』とともに「1回」の割合が高くなっています。1ヶ月当たりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』、『今治市で実施している類似の事業』とともに「1回」の割合が高くなっています。



### ◎1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数〈数量回答〉

《「地域子育て支援拠点事業」「今治市で実施している類似の事業」を選んだ方》

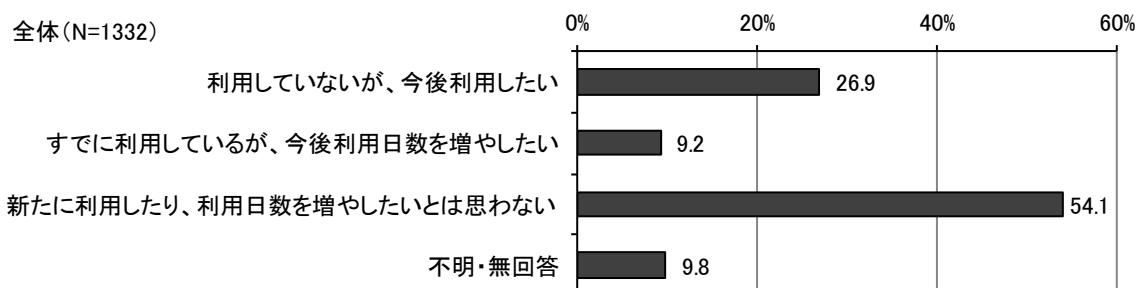
1週の当たり 利用回数	地域子育て支援 拠点事業 (N=225)		今治市で実施している 類似の事業 (N=44)	
	件数	%	件数	%
1回	51	22.7	9	20.5
2回	23	10.2	3	6.8
3回	17	7.6	2	4.5
4回	8	3.6	2	4.5
5回以上	12	5.3	2	4.5
不明・無回答	114	50.7	26	59.1

1ヶ月当たりの 利用回数	地域子育て支援 拠点事業 (N=225)		今治市で実施している 類似の事業 (N=44)	
	件数	%	件数	%
1回	60	26.7	12	27.3
2回	37	16.4	9	20.5
3回	23	10.2	3	6.8
4回	9	4.0	3	6.8
5回以上	22	9.8	3	6.8
不明・無回答	74	32.9	14	31.8

## （２）地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向〈単数回答〉〔問19〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が54.1%と最も高くなっています。

また、1週当たりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』ともに「1回」の割合が最も高くなっています。1ヶ月当たりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』で「1回」、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』で「2回」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



### ◎1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用希望回数〈数量回答〉

《「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方》

1週当たりの 利用回数	利用していないが、今 後利用したい(N=358)		すでに利用している が、今後利用日数を増 やしたい(N=123)	
	件数	%	件数	%
1回	114	31.8	46	37.4
2回	25	7.0	24	19.5
3回	15	4.2	7	5.7
4回	2	0.6	2	1.6
5回以上	14	3.9	3	2.4
不明・無回答	188	52.5	41	33.3

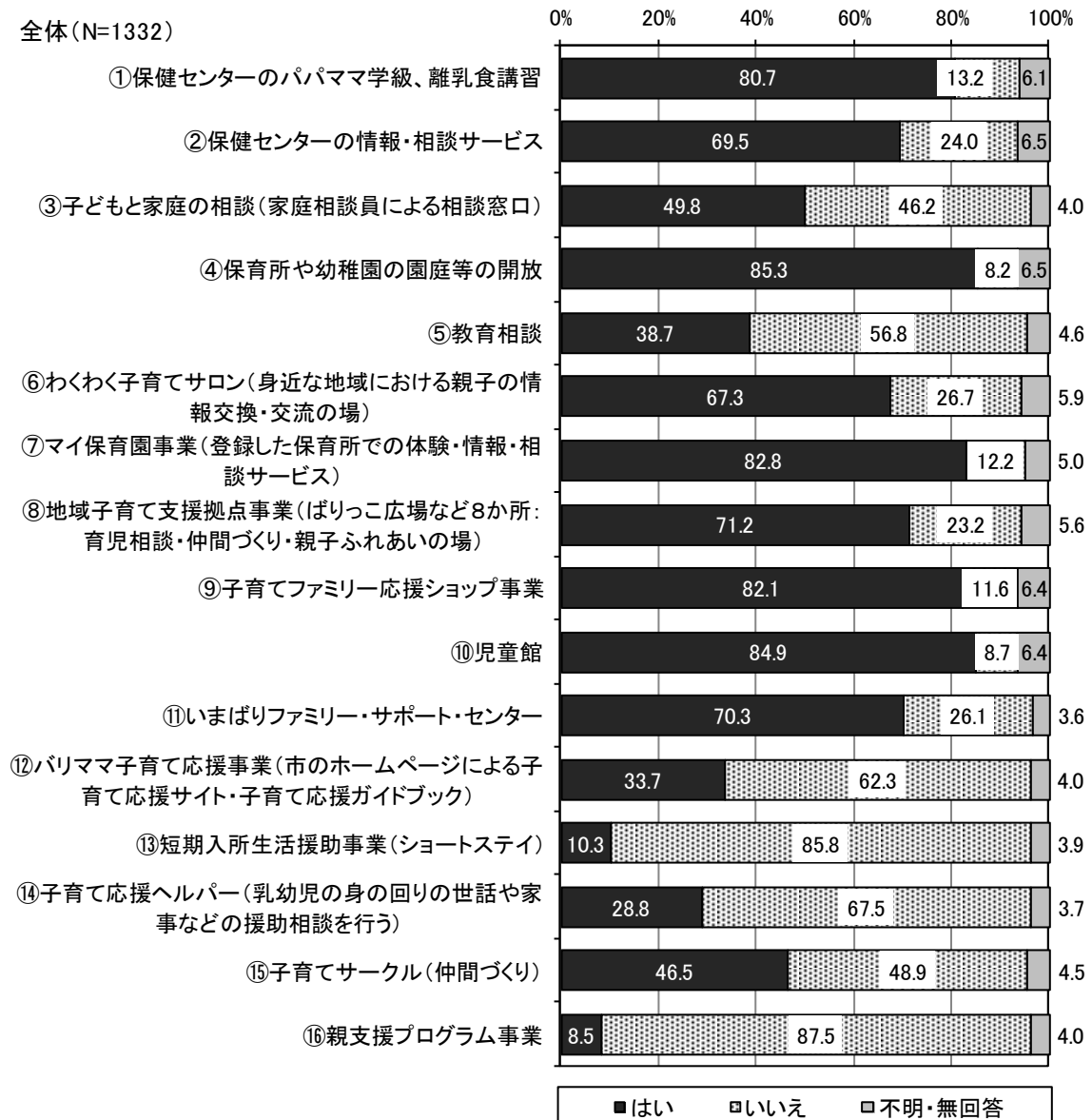
1ヶ月当たりの 利用回数	利用していないが、今 後利用したい(N=358)		すでに利用している が、今後利用日数を増 やしたい(N=123)	
	件数	%	件数	%
1回	97	27.1	5	4.1
2回	67	18.7	19	15.4
3回	27	7.5	8	6.5
4回	30	8.4	11	8.9
5回以上	35	9.8	18	14.6
不明・無回答	102	28.5	62	50.4

### (3) 今治市で実施している子育て支援事業について〈単数回答〉〔問20〕

今治市で実施している子育て支援事業の認知度についてみると、「④保育所や幼稚園の園庭等の開放」が85.3%と最も高く、次いで「⑩児童館」が84.9%、「⑦マイ保育園事業（登録した保育所での体験・情報・相談サービス）」が82.8%となっています。

一方で、「⑩親支援プログラム事業」が8.5%と最も低く、次いで「⑬短期入所生活援助事業（ショートステイ）」が10.3%となっています。

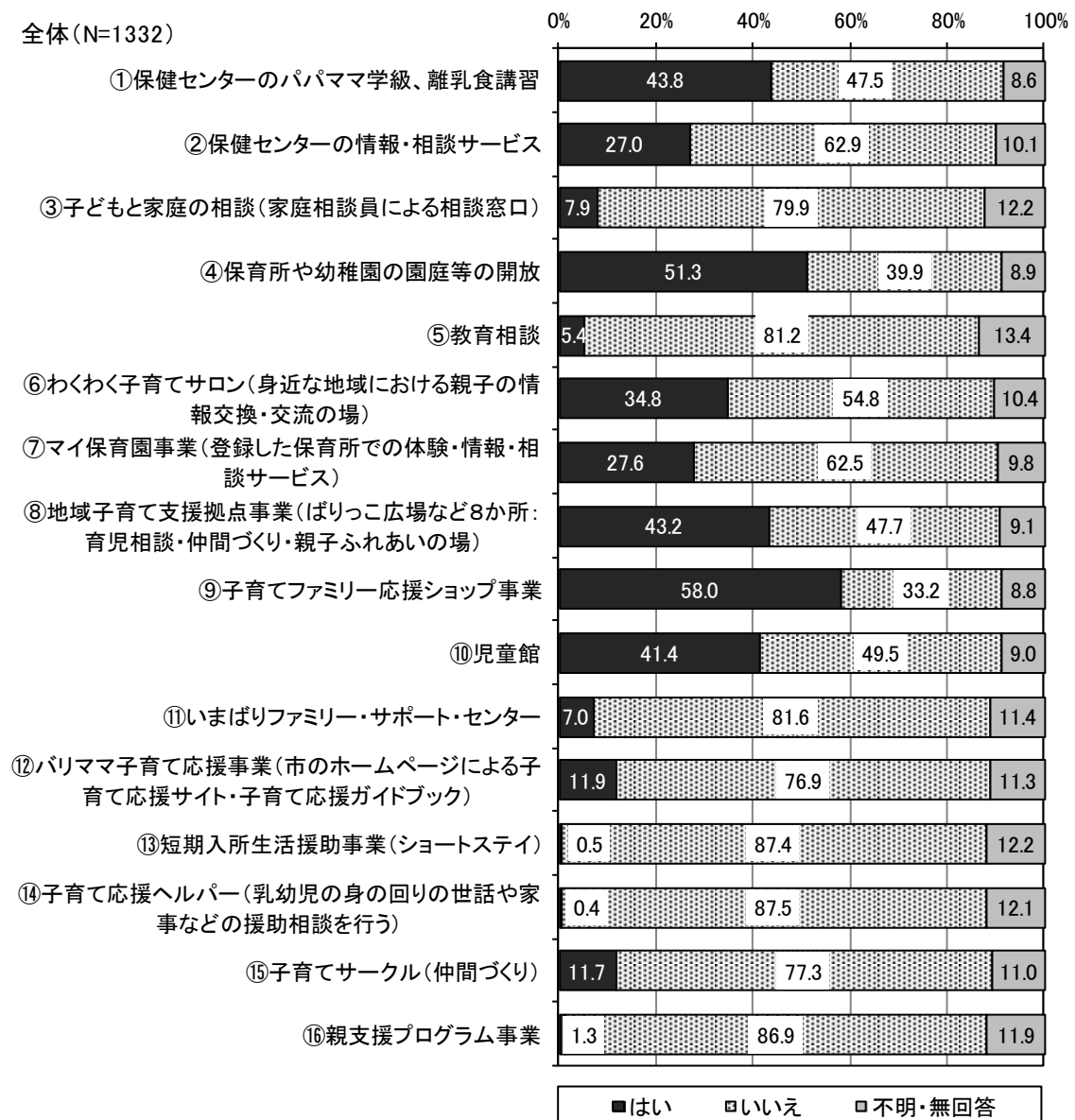
#### ◎今治市で実施している子育て支援事業の認知度



今治市で実施している子育て支援事業のこれまでの利用経験の有無についてみると、「⑨子育てファミリー応援ショップ事業」が58.0%と最も高く、次いで「④保育所や幼稚園の園庭等の開放」が51.3%、「①保健センターのパパママ学級、離乳食講習」が43.8%となっています。

一方で、「⑭子育て応援ヘルパー（乳幼児の身の回りの世話や家事などの援助相談を行う）」が0.4%と最も低く、次いで「⑬短期入所生活援助事業（ショートステイ）」が0.5%となっています。

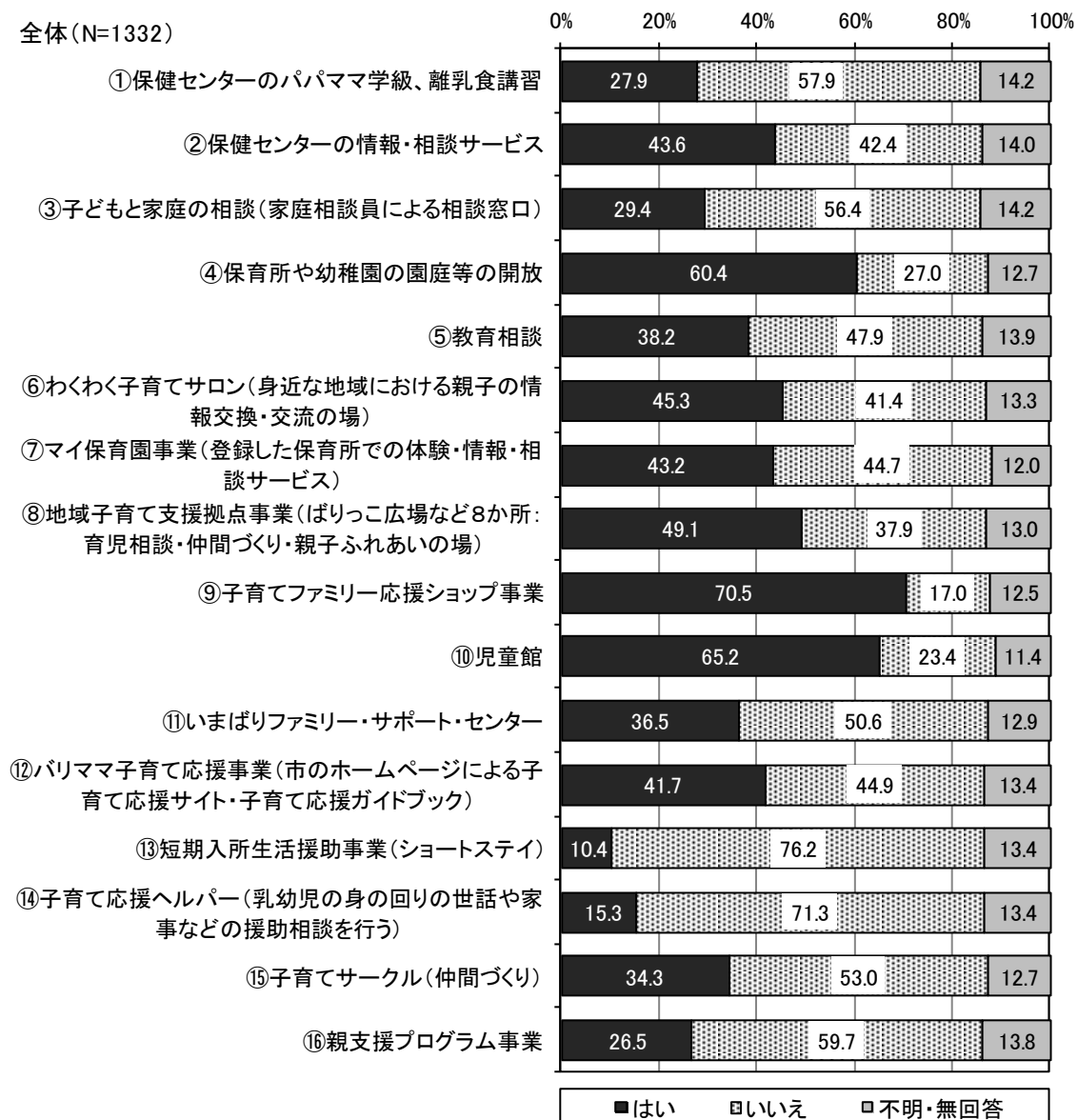
### ◎今治市で実施している子育て支援事業の利用経験の有無



今治市で実施している子育て支援事業の今後の利用希望についてみると、「⑨子育てファミリー応援ショップ事業」が70.5%と最も高く、次いで「⑩児童館」が65.2%、「④保育所や幼稚園の園庭等の開放」が60.4%となっています。

一方で、「⑬短期入所生活援助事業（ショートステイ）」が10.4%と最も低く、次いで「⑭子育て応援ヘルパー（乳幼児の身の回りの世話や家事などの援助相談を行う）」が15.3%となっています。

### ◎今治市で実施している子育て支援事業の今後の利用希望



## 6 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

○土曜日、日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望について、「利用する必要はない」と答えた方が土曜日で55.1%、日曜日・祝日で77.5%と高くなっています。一方で土曜日については、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせると42.5%となっており、その理由については、「月に数回仕事が入るため」が57.7%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が45.0%となっており、定期的ではないが事業を必要とされている方が多いことがうかがえます。

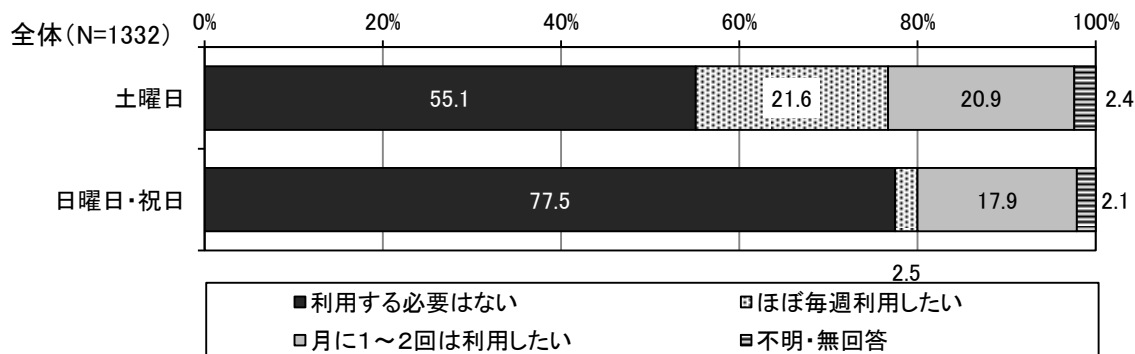
○幼稚園を利用している方で、長期休暇中の事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が35.3%と最も高く、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と合わせると65.8%となり、多くの方が『利用したい』と考えていることがうかがえます。

○「定期的な教育・保育事業の利用意向」からも6日間の利用希望が多い傾向にありました。これは週休二日制が基本となり、保護者の方の就労状況が5日間の割合が多く、平日にできない用事を土曜日にしたい方が多いということがわかります。そのため、毎週でなくても土曜日については状況に合わせて利用したい方が多いことがわかります。

### (1) 土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔問21〕

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ55.1%、77.5%と最も高く、特に日曜日・祝日では8割近くと、大部分を占めています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」の割合が最も高くなっています。終了時間においても、土曜日、日曜日・祝日ともに「17時」の割合が最も高くなっています。



\*事業の利用には一定の利用者負担が発生する

## ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

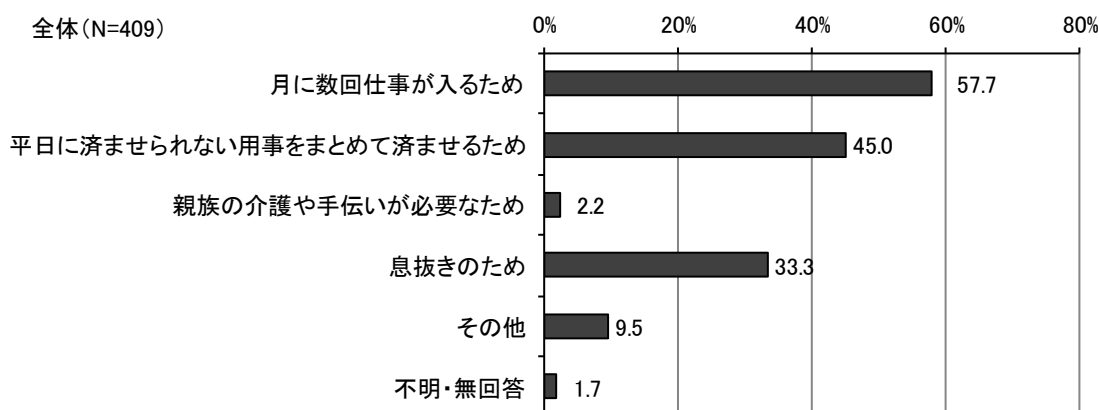
《「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方》

開始時間	土曜日 (N=566)		日曜日・祝日 (N=272)		終了時間	土曜日 (N=566)		日曜日・祝日 (N=272)	
	件数	%	件数	%		件数	%	件数	%
6時前	1	0.2	2	0.7	11時	1	0.2	2	0.7
7時	44	7.8	24	8.8	12時	32	5.7	11	4.0
8時	266	47.0	120	44.1	13時	24	4.2	9	3.3
9時	208	36.7	93	34.2	14時	33	5.8	7	2.6
10時	23	4.1	20	7.4	15時	69	12.2	28	10.3
11時	0	0.0	0	0.0	16時	87	15.4	30	11.0
12時	0	0.0	2	0.7	17時	164	29.0	92	33.8
13時	5	0.9	4	1.5	18時	114	20.1	62	22.8
14時	1	0.2	0	0.0	19時	20	3.5	21	7.7
15時以降	1	0.2	0	0.0	20時	4	0.7	4	1.5
不明・無回答	17	3.0	7	2.6	不明・無回答	18	3.2	6	2.2

### (1) で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

#### (1) - 1 毎週ではなくたまに利用したい理由〈複数回答〉〔問21-1〕

毎週ではなくたまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が57.7%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が45.0%となっています。



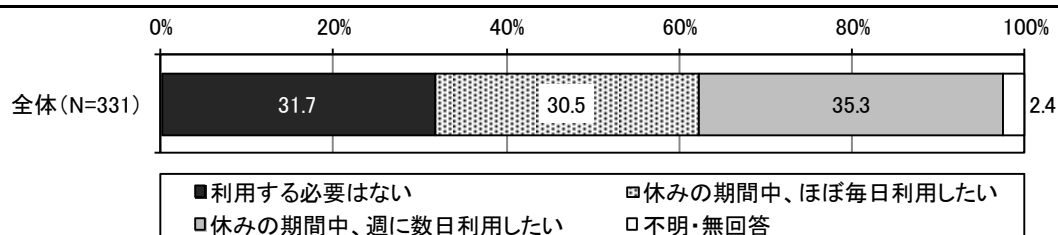
### 「幼稚園」を利用されている方

#### (2) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

〔問22〕

幼稚園を利用されている方の、長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が35.3%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が31.7%となっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では「9時」、終了時間では「15時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



\*事業の利用には一定の利用者負担が発生する



## ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

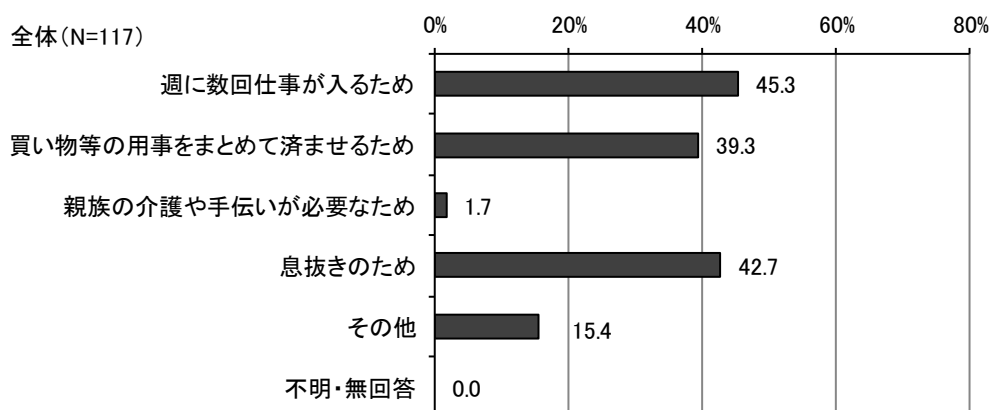
《「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方》

開始時間	全体(N=218)		終了時間	全体(N=218)	
	件数	%		件数	%
6時以前	0	0.0	11時	1	0.5
7時	4	1.8	12時	6	2.8
8時	98	45.0	13時	1	0.5
9時	105	48.2	14時	23	10.6
10時	8	3.7	15時	74	33.9
11時	0	0.0	16時	45	20.6
12時	0	0.0	17時	42	19.3
13時	0	0.0	18時	22	10.1
14時	0	0.0	19時	1	0.5
15時以降	1	0.5	20時	1	0.5
不明・無回答	2	0.9	不明・無回答	2	0.9

(2)で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方

(2)－1 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔問22－1〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「週に数回仕事が入るため」が45.3%と最も高く、次いで「息抜きのため」が42.7%となっています。



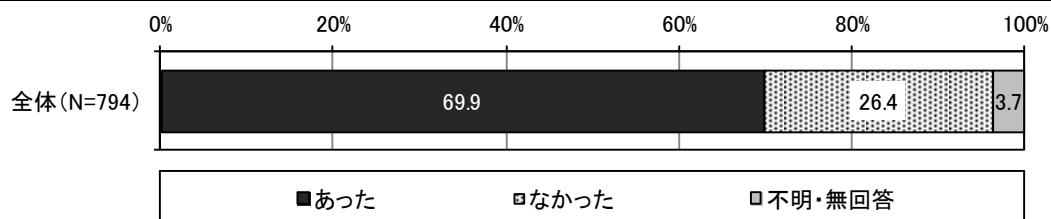
## 7 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

○この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは「あった」が69.9%となっており、その対処方法については、「母親が休んだ」が73.7%となっています。その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいかについては、「利用したいとは思わない」が65.2%、その理由については、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が68.5%となっており、親が直接子どもをみることを望む方が多いことがうかがえます。

○病児・病後児の保育施設は全国的にみてもまだ少ない状況です。現在のところ、利用したいと思わないが半数以上を占めております。しかし、働きながら子育てをしたい意向が多い中で安心して預けられる体制づくりをすすめることも重要であると考えられます。

### （1）この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無〈単数回答〉〔問23〕

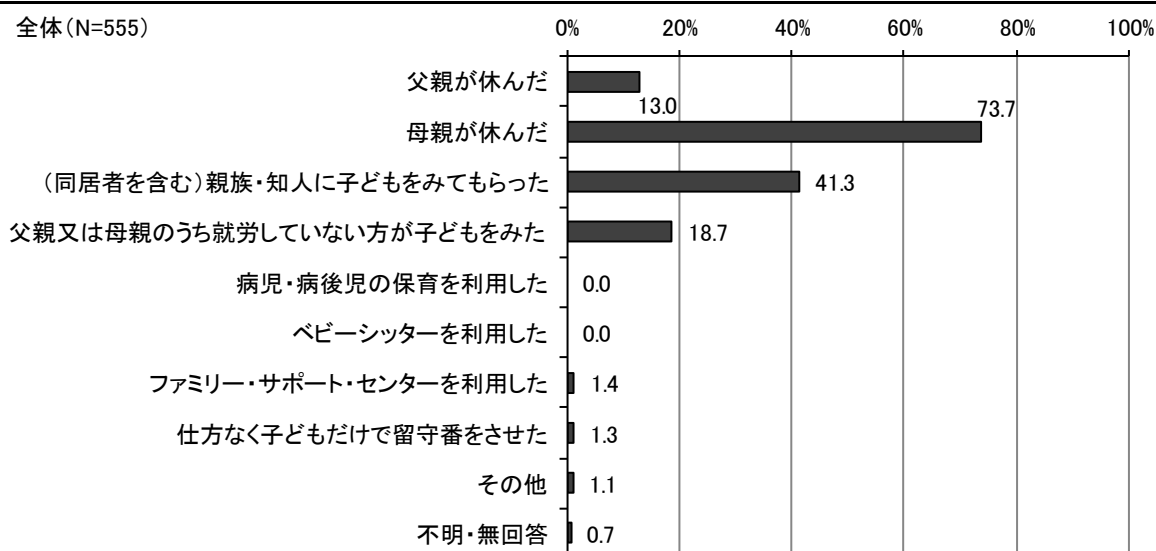
病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無についてみると、「あった」が69.9%となっています。



#### （1）で「あった」を選んだ方

### （1）-1 子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の、この1年間に行った対処方法〈複数回答〉〔問23-1〕

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法についてみると、「母親が休んだ」が73.7%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が41.3%となっています。



子どもが病気やケガの際のそれぞれの対処日数については、『母親が休んだ』で「10～19日」の割合が、最も高くなっています。

◎子どもが病気やケガの際の各対処日数〈数量回答〉

対応日数	父親が休んだ N=72		母親が休んだ N=409		もにむ（同 ら子～親居 つど親者 たも族を を・知 み含 て人 N=229		をなう父 みいち親 た方就又 が労は 子し母 どて親 もいの N=104		タポフ ーーア をトミ 利・リ 用セー しん・サ N=8		さだ仕 せけ方 たでな 留く 守子 番ど をも N=7		その他 N=6	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	27	37.5	43	10.5	22	9.6	12	11.5	2	25.0	3	42.9	0
2日	13	18.1	48	11.7	31	13.5	11	10.6	2	25.0	1	14.3	1	16.7
3日	11	15.3	42	10.3	35	15.3	17	16.3	0	0.0	1	14.3	1	16.7
4日	7	9.7	19	4.6	7	3.1	4	3.8	1	12.5	0	0.0	0	0.0
5日	6	8.3	54	13.2	45	19.7	14	13.5	1	12.5	1	14.3	0	0.0
6日	0	0.0	11	2.7	3	1.3	5	4.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	1	1.4	25	6.1	13	5.7	5	4.8	1	12.5	0	0.0	1	16.7
8日	0	0.0	3	0.7	4	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	5	6.9	104	25.4	43	18.8	19	18.3	1	12.5	1	14.3	1	16.7
20～29日	1	1.4	21	5.1	11	4.8	4	3.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30～39日	0	0.0	14	3.4	2	0.9	2	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40～49日	0	0.0	2	0.5	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50日以上	0	0.0	1	0.2	1	0.4	2	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	1.4	22	5.4	11	4.8	9	8.7	0	0.0	0	0.0	2	33.3

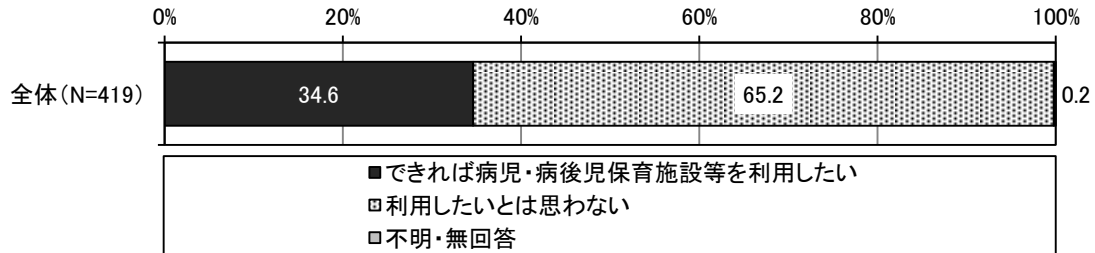
※「病児・病後児の保育を利用した」「ベビーシッターを利用した」に回答はありませんでした。

(1) - 1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方

(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉〔問 23-2〕

父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについてみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 34.6%、「利用したいとは思わない」が 65.2%となっています。

また、できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数については、「10日以上」が 21.4%と最も高くなっています。



\*病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要

◎病児・病後児保育施設等を利用したい方の日数〈数量回答〉

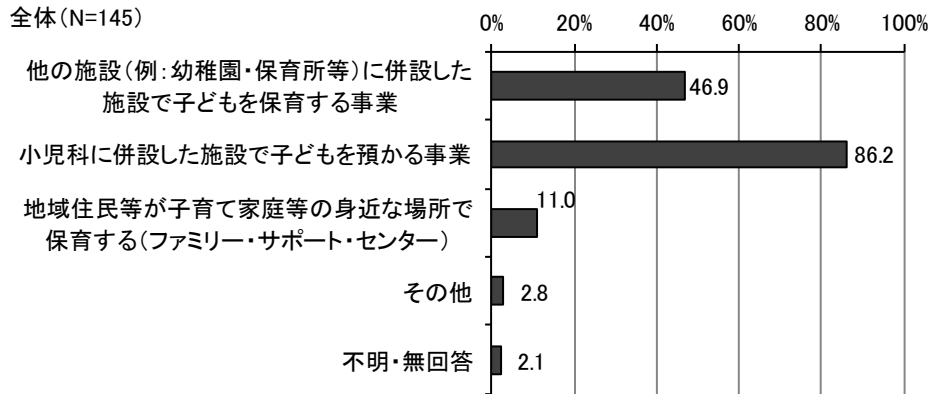
《「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》

利用したい日数	全体 (N=145)	
	件数	%
1日	12	8.3
2日	13	9.0
3日	25	17.2
4日	6	4.1
5日	24	16.6
6日	5	3.4
7日	8	5.5
8日	0	0.0
9日	1	0.7
10日以上	31	21.4
不明・無回答	20	13.8

**(1) - 2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方**

**(1) - 3 上記の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉**〔問 23-3〕

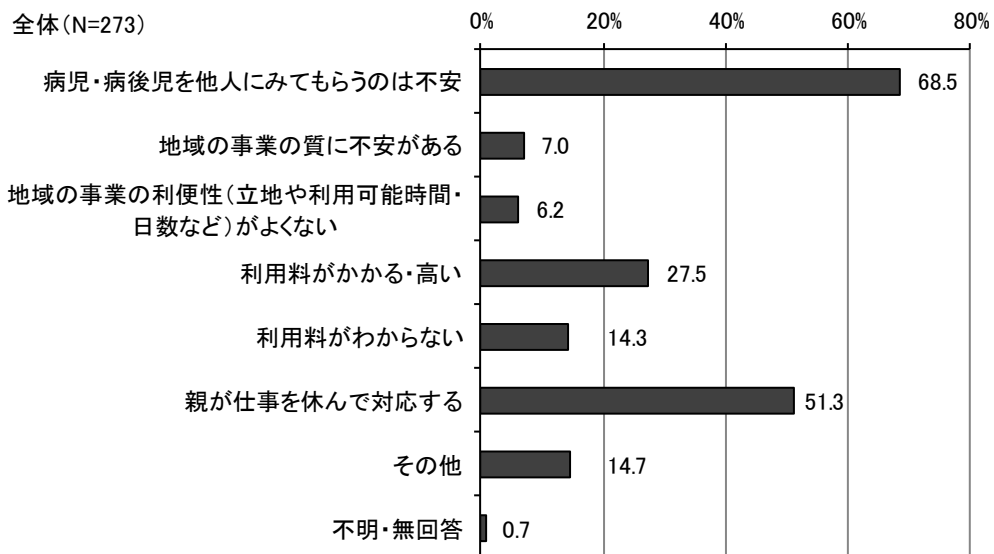
病児・病後児保育施設等を利用したい方の、子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「小児科に併設した施設で子どもを預かる事業」が86.2%で最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が46.9%となっています。



**(1) - 2で「利用したいとは思わない」を選んだ方**

**(1) - 4 そう思う理由〈複数回答〉**〔問 23-4〕

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由についてみると、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が68.5%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が51.3%となっています。

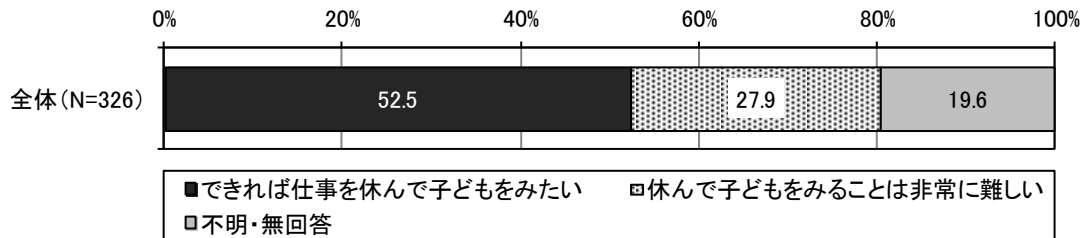


(1) - 1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外を選んだ方

(1) - 5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思ったか〈単数回答〉〔問 23-5〕

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思ったかについてみると、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が52.5%となっています。

また、仕事を休んで子どもをみたい日数については、「10日以上」の割合が最も高くなっています。



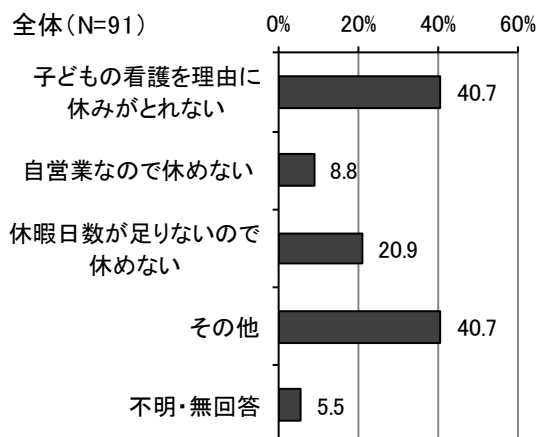
◎仕事を休んで子どもをみたい日数〈数量回答〉

《「できれば仕事を休んで子どもをみたい」を選んだ方》

仕事を休んで子どもを みたい日数	全体 (N=171)	
	件数	%
1日	18	10.5
2日	22	12.9
3日	25	14.6
4日	7	4.1
5日	31	18.1
6日	1	0.6
7日	5	2.9
8日	1	0.6
9日	0	0.0
10日以上	37	21.6
不明・無回答	24	14.0

(1) - 4で「休んで子どもをみることは非常に難しい」を選んだ方

(1) - 6 そう思う理由〈複数回答〉〔問 23-6〕



休んで子どもをみることは非常に難しい理由についてみると、「その他」を除いて、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が40.7%と高くなっています。

## 8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

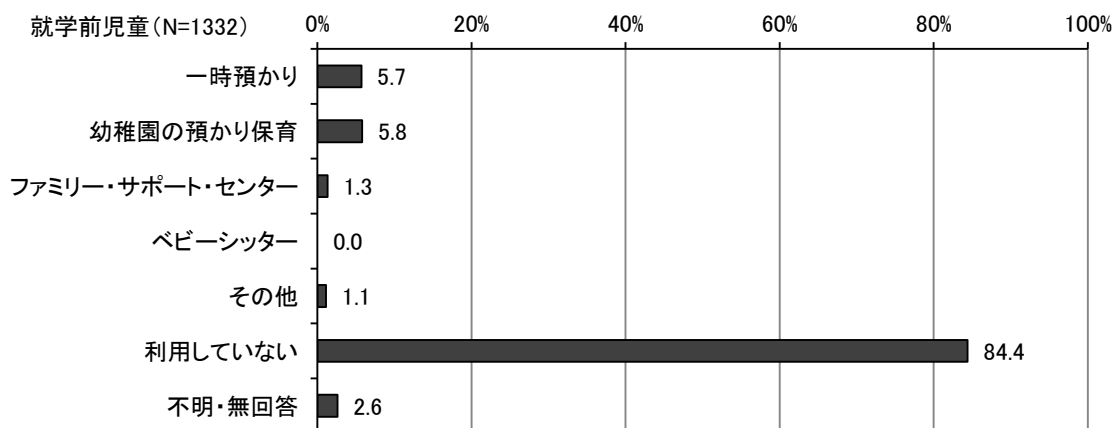
○不定期に利用する必要がある事業について、「利用していない」が84.4%となっており、その理由については、「特に利用する必要がない」が80.4%となっています。一方で利用したいと答えた方の、子どもを預ける場合の望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が77.2%となっており、幼稚園・保育所等を信用・信頼されている方が多いことがうかがえます。

○この1年間に宿泊を伴う一時預かりについては、「なかった」が78.9%となっており、「あった」場合の対処方法については、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が88.6%と最も高く、「子どもの育ちをめぐる環境」での結果でも「緊急時に祖父母にみてもらえる」方の割合が高いことが影響していると考えられます。こうした中で、一時預かりについては親族・知人に協力してもらっていることがうかがえます。

### (1) 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用する必要がある事業の有無〈複数回答〉〔問24〕

一時預かりなど、不定期に利用する必要がある事業についてみると、「利用していない」が84.4%となっています。利用している事業では、「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」、「ファミリー・サポート・センター」の割合が1割以下となっています。

利用している事業の1年間の利用日数については、『一時預かり』『幼稚園の預かり保育』『ファミリー・サポート・センター』『その他』で「10日以上」の割合が高くなっています。



## ◎1年間の利用日数〈数量回答〉

《「利用していない」以外を選んだ方》

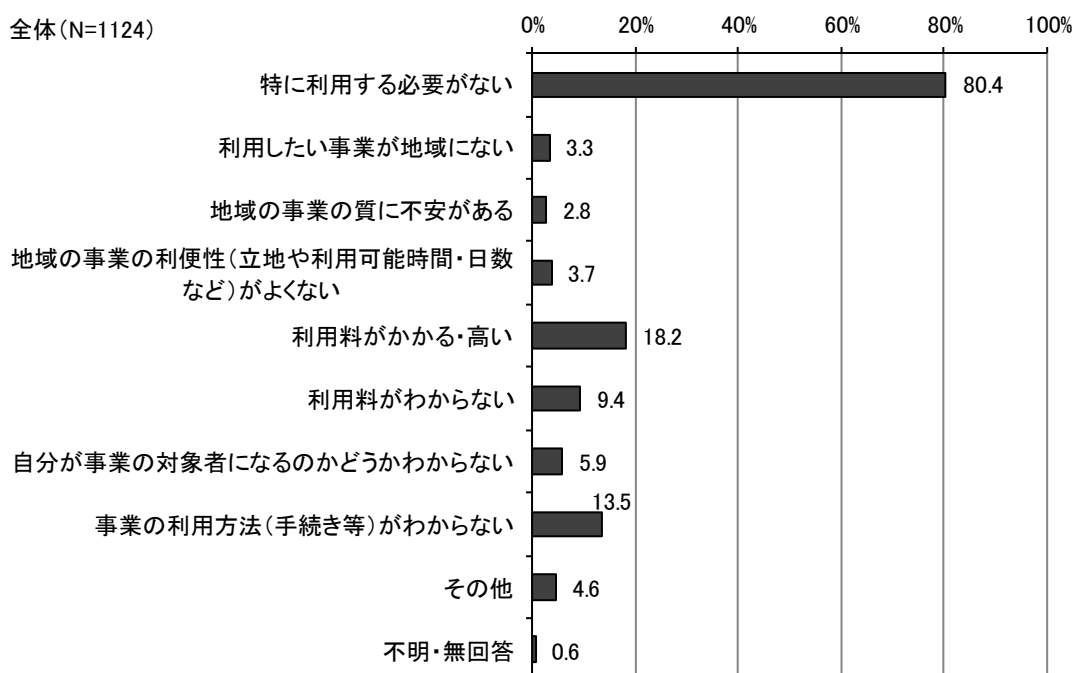
※「ベビーシッター」に  
回答はありませんでした。

1年間の 利用日数	一時 預かり		幼稚園 の預かり 保育		ト フ ア セ ミ ン タ ー ・ サ ポ ー		そ の 他	
	N=76		N=77		N=17		N=15	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	9	11.8	3	3.9	5	29.4	0	0.0
2日	5	6.6	11	14.3	1	5.9	0	0.0
3日	14	18.4	7	9.1	2	11.8	0	0.0
4日	3	3.9	3	3.9	0	0.0	0	0.0
5日	7	9.2	11	14.3	2	11.8	2	13.3
6日	3	3.9	3	3.9	0	0.0	0	0.0
7日	1	1.3	3	3.9	1	5.9	0	0.0
8日	1	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.7
10日以上	31	40.8	32	41.6	5	29.4	10	66.7
不明・無回答	2	2.6	4	5.2	1	5.9	2	13.3

### (1)で「利用していない」を選んだ方

#### (1)－1 現在利用していない理由〈複数回答〉〔問24－1〕

現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が80.4%となっています。また、「利用料がかかる・高い」が18.2%となっています。

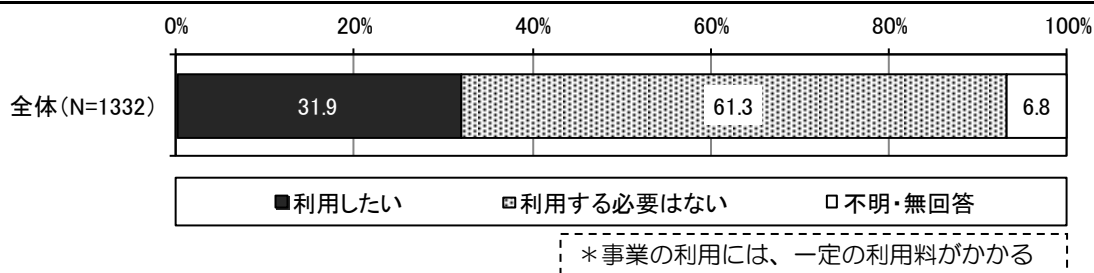




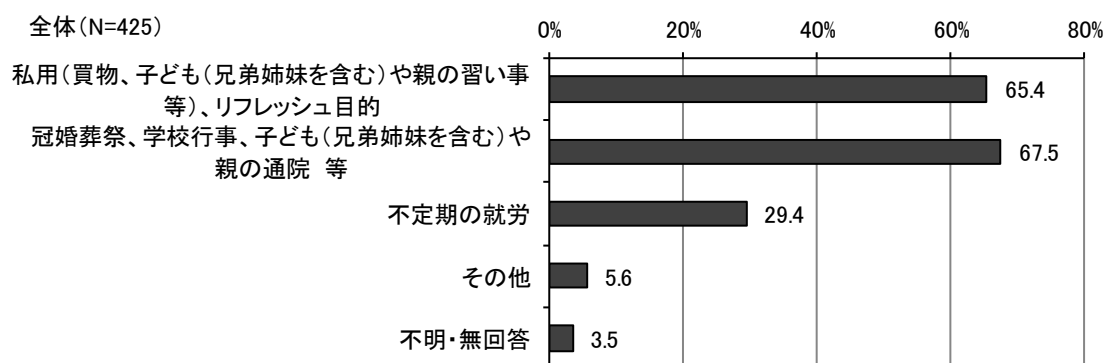
## (2) 私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、利用する必要がある事業の有無〈単数回答〉〔問25〕

不定期に利用する必要がある事業の有無についてみると、「利用したい」が31.9%、「利用する必要はない」が61.3%となっています。

また、利用したい目的の内訳については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が67.5%、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が65.4%となっています。年間日数については、『その他』を除いたすべての項目で「10～19日」の割合が高くなっています。



### ①利用したい目的の内訳〈複数回答〉《「利用したい」を選んだ方》



### ②利用したい年間日数〈数量回答〉《「利用したい」を選んだ方》

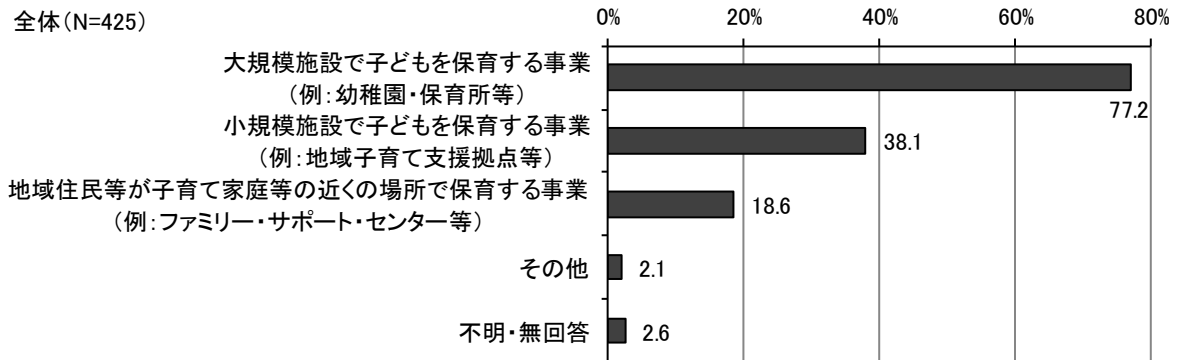
利用したい日数	年間日数 N=425		私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 N=278		冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 N=287		不特定の就労 N=125		その他 N=24	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	5	1.2	16	5.8	13	4.5	9	7.2	0	0.0
2日	7	1.6	13	4.7	34	11.8	4	3.2	1	4.2
3日	20	4.7	23	8.3	23	8.0	13	10.4	0	0.0
4日	6	1.4	4	1.4	7	2.4	2	1.6	0	0.0
5日	35	8.2	53	19.1	56	19.5	11	8.8	6	25.0
6日	10	2.4	11	4.0	11	3.8	4	3.2	0	0.0
7日	12	2.8	5	1.8	12	4.2	5	4.0	3	12.5
8日	2	0.5	5	1.8	3	1.0	1	0.8	1	4.2
9日	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	144	33.9	85	30.6	90	31.4	23	18.4	4	16.7
20～29日	64	15.1	18	6.5	14	4.9	15	12.0	1	4.2
30～39日	31	7.3	10	3.6	7	2.4	8	6.4	0	0.0
40～49日	15	3.5	11	4.0	1	0.3	4	3.2	1	4.2
50日以上	40	9.4	7	2.5	0	0.0	13	10.4	2	8.3
不明・無回答	33	7.8	17	6.1	16	5.6	13	10.4	5	20.8

**(2)で「利用したい」を選んだ方**

**(2)－1 (2)①の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉**

〔問 25－1〕

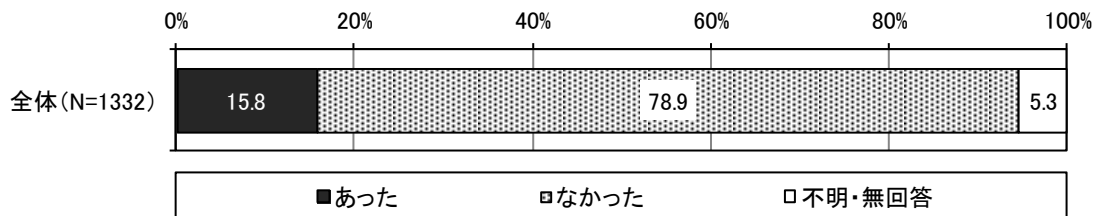
利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 77.2%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 38.1%となっています。



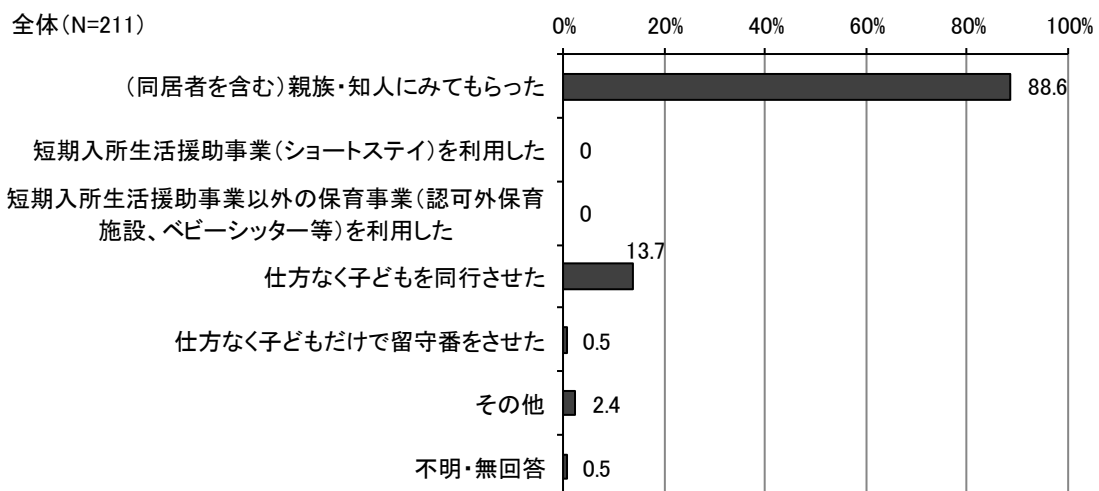
**(3) この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無〈単数回答〉**〔問 26〕

この1年間に、子どもを泊りがけで家族以外に一時的に預けた経験の有無については、「あった」が 15.8%、「なかった」が 78.9%となっています。

対処方法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 88.6%となっています。



**① 1年間の対処方法〈複数回答〉《「あった」を選んだ方》**



子どもを泊りがけで一時的に預けた際の泊数については、『(同居者を含む) 親族・知人に預けた』で、「1泊」の割合が高くなっています。

②それぞれの日数〈数量回答〉《「あった」を選んだ方》

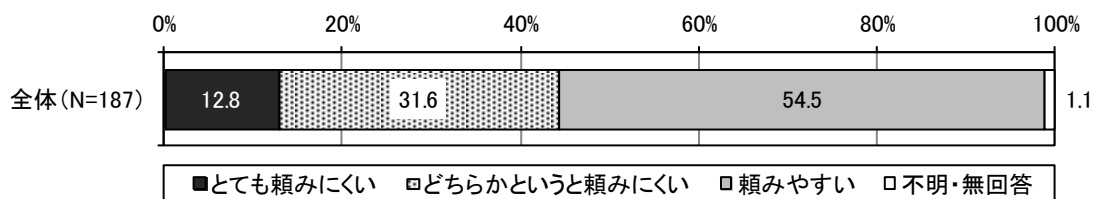
泊数	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった N=187		仕方なく子どもを同行させた N=29		仕方なく子どもだけで留守番をさせた N=1		その他 N=5	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	62	33.2	9	31.0	0.0	0.0	1	20.0
2泊	25	13.4	9	31.0	0.0	0.0	0	0.0
3泊	23	12.3	4	13.8	1.0	100.0	1	20.0
4泊	13	7.0	2	6.9	0.0	0.0	0	0.0
5泊	16	8.6	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
6泊	6	3.2	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
7泊	6	3.2	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
8泊	2	1.1	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
9泊	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
10泊以上	27	14.4	2	6.9	0.0	0.0	1	20.0
不明・無回答	7	3.7	3	10.3	0.0	0.0	2	40.0

※「短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した」、「短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」ともに回答はありませんでした。

(3)で「親族・知人にみてもらった」を選んだ方

(3) - 1 その場合の困難度〈単数回答〉 [問 26-1]

親族・知人にみてもらった場合の困難度についてみると、「頼みやすい」が54.5%と最も高くなっています。

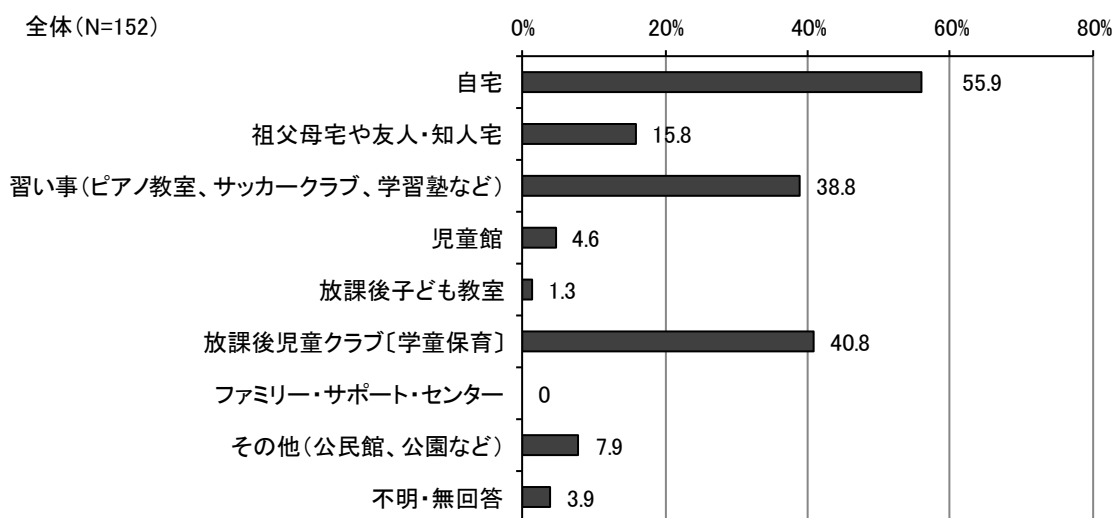


## 9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

- 小学校低学年（1～3年生）の希望する放課後の過ごし方について、「自宅」が55.9%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が40.8%となっており、自宅以外では放課後児童クラブを希望する方が多くなっています。
- 小学校高学年（4～6年生）の希望する放課後の過ごし方について、「自宅」が66.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が56.6%となっており、自宅以外では習い事を希望する方が多くなっています。
- 土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、土曜日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が42.4%となっていますが、日曜日・祝日では「利用する必要はない」が71.2%となっており、日曜日・祝日の需要は低いことがうかがえます。また、長期休暇中では、「利用する必要はない」が39.5%と最も高い一方で、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が34.2%となっているため、長期休暇中については一定の需要があることがうかがえます。
- 「土日・祝日の教育・保育事業」の利用意向でも土曜日の利用希望があったように、平日にできない用事を土曜日にしたいと考えられている保護者の方が影響していることが考えられます。また、子育てを主に行っている方が、「父母ともに」の割合が高い中で、母親が主に行っている方も半数近くおられます。母親の就労状況としてはパート・アルバイトの割合が多く、土曜日も不規則に出勤があることも影響していることも考えられます。

### （1）小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔問27〕

小学校低学年のうちで、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、「自宅」が55.9%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が40.8%となっています。



週当たりの利用希望日数については、『習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』、『その他（公民館、公園など）』以外の項目で「5日」の割合が高くなっています。

また、放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の利用希望時間では、「17時」が50.0%と最も高くなっています。

①週当たりの利用希望日数〈数量回答〉

小学校低学年 週当たりの 利用希望日数	自宅 N=85		人 祖 宅 父 母 や 友 人 ・ 知		ブ 室 習 、 、 い 学 サ 事 習 ツ ヘ 塾 カ ピ な ノ ど ク ノ ー ラ 教		児 童 館 N=8		放 課 後 子 ど も 教 室 N=3		ハ 放 学 課 童 後 保 児 育 童 ク ラ ブ N=62		公 所 園 の 他 な ど （ 公 民 館 、 N=15	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	4	4.7	5	20.8	17	27.9	2	25.0	0	0.0	0	0.0	5
2日	14	16.5	6	25.0	20	32.8	1	12.5	1	33.3	6	9.7	4	26.7
3日	17	20.0	3	12.5	15	24.6	1	12.5	1	33.3	5	8.1	2	13.3
4日	6	7.1	1	4.2	4	6.6	0	0.0	0	0.0	3	4.8	1	6.7
5日	31	36.5	8	33.3	3	4.9	3	37.5	1	33.3	41	66.1	1	6.7
6日	3	3.5	1	4.2	0	0.0	1	12.5	0	0.0	7	11.3	0	0.0
7日	3	3.5	0	0.0	1	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.7
不明・無回答	7	8.2	0	0.0	1	1.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.7

※「ファミリー・サポート・センター」に回答はありませんでした。

②「放課後児童クラブ」の利用希望時間

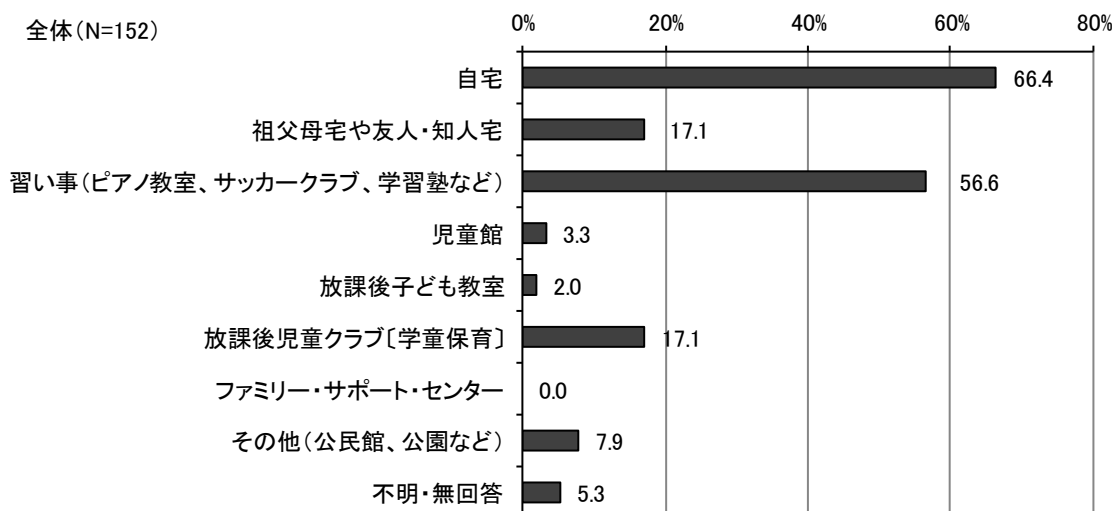
（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

小学校低学年 利用希望時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=62)	
	件数	%
15時	1	1.6
16時	8	12.9
17時	31	50.0
18時	18	29.0
19時	1	1.6
不明・無回答	3	4.8

## (2) 小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔問28〕

小学校高学年になったら、放課後(平日の小学校終了後)を過ごさせたいと思う場所についてみると、「自宅」が66.4%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が56.6%となっています。



週当たりの利用希望日数については、『自宅』、『祖父母や友人・知人宅』、『児童館』、『放課後児童クラブ〔学童保育〕』で「5日」の割合が高くなっています。また、放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の利用希望時間では、「17時」が53.8%と最も高くなっています。

### ①週当たりの利用希望日数〈数量回答〉

小学校高学年 週当たりの 利用希望日数	自宅 N=101		祖父母 や友人・ 知人宅 N=26		習い事 (ピアノ 教室、 学習 塾など) N=88		児童館 N=6		放課後 子ども 教室 N=4		放課後 児童 クラブ N=26		その他 (公民館、 公園など) N=14	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	6	5.9	2	7.7	15	17.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	4	28.6
2日	18	17.8	8	30.8	24	27.3	1	16.7	2	50.0	1	3.8	2	14.3
3日	17	16.8	4	15.4	29	33.0	2	33.3	0	0.0	5	19.2	3	21.4
4日	8	7.9	2	7.7	8	9.1	1	16.7	0	0.0	1	3.8	1	7.1
5日	34	33.7	8	30.8	4	4.5	2	33.3	0	0.0	13	50.0	1	7.1
6日	4	4.0	1	3.8	2	2.3	0	0.0	0	0.0	3	11.5	0	0.0
7日	3	3.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.1
不明・無回答	11	10.9	1	3.8	5	5.7	0	0.0	1	25.0	3	11.5	2	14.3

※「ファミリー・サポート・センター」に回答はありませんでした。

## ② 「放課後児童クラブ」の利用希望時間

(下校時から何時まで)〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

小学校高学年 利用希望時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=26)	
	件数	%
15時	0	0.0
16時	1	3.8
17時	14	53.8
18時	9	34.6
19時	0	0.0
不明・無回答	2	7.7

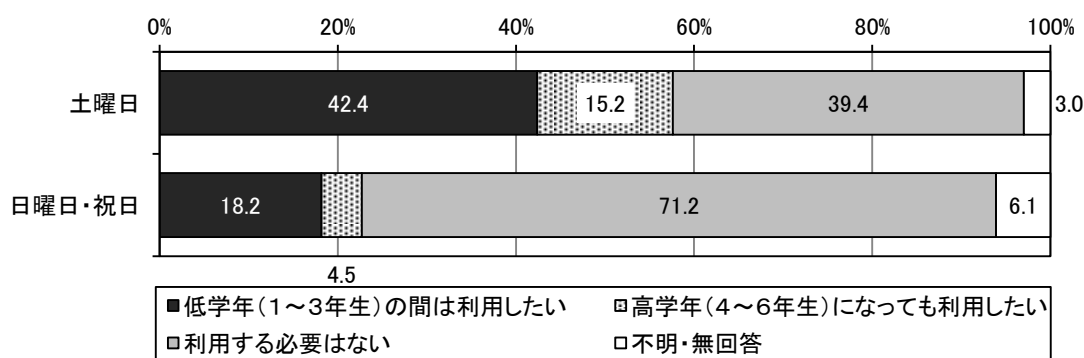
(1)、(2)で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方

### (3) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉 [問 29]

放課後児童クラブの、土曜日と日曜日・祝日の利用希望についてみると、土曜日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が42.4%、日曜日・祝日では「利用する必要はない」が71.2%となっています。

希望する利用時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに、開始時間は「8時」、終了時間は「17時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

全体 (N=66)



\* 事業の利用には、一定の利用料がかかる

### ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方》

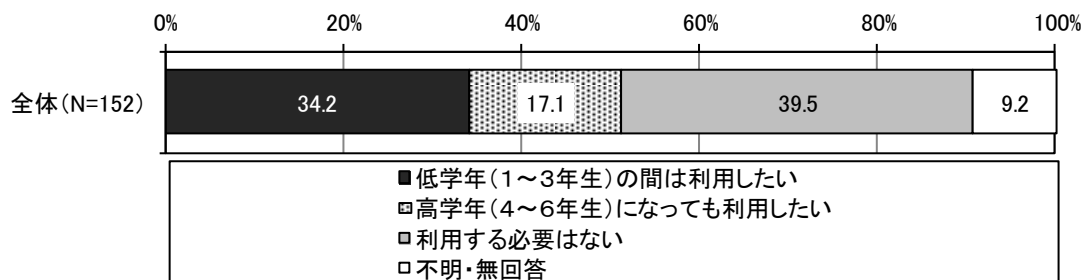
開始時間	土曜日 (N=38)		日曜日・祝日 (N=15)	
	件数	%	件数	%
7時	3	7.9	1	6.7
8時	21	55.3	7	46.7
9時	12	31.6	7	46.7
10時	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	0	0.0
14時	0	0.0	0	0.0
15時	1	2.6	0	0.0
不明・無回答	1	2.6	0	0.0

終了時間	土曜日 (N=38)		日曜日・祝日 (N=15)	
	件数	%	件数	%
12時	2	5.3	0	0.0
13時	1	2.6	0	0.0
14時	1	2.6	0	0.0
15時	4	10.5	0	0.0
16時	2	5.3	0	0.0
17時	16	42.1	8	53.3
18時	11	28.9	7	46.7
19時	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	2.6	0	0.0

#### (4) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉〔問30〕

長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望についてみると、「利用する必要はない」が39.5%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が34.2%となっています。

希望する利用時間帯について、開始時間では「8時」、終了時間では「17時」の割合が、それぞれ高くなっています。



\*事業の利用には、一定の利用料がかかる

#### ◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方》

開始時間	全体(N=78)	
	件数	%
7時	6	7.7
8時	45	57.7
9時	20	25.6
10時	1	1.3
11時	0	0.0
12時	0	0.0
13時	1	1.3
14時	0	0.0
15時	0	0.0
不明・無回答	5	6.4

終了時間	全体(N=78)	
	件数	%
12時	0	0.0
13時	1	1.3
14時	2	2.6
15時	10	12.8
16時	4	5.1
17時	38	48.7
18時	20	25.6
19時	0	0.0
不明・無回答	3	3.8



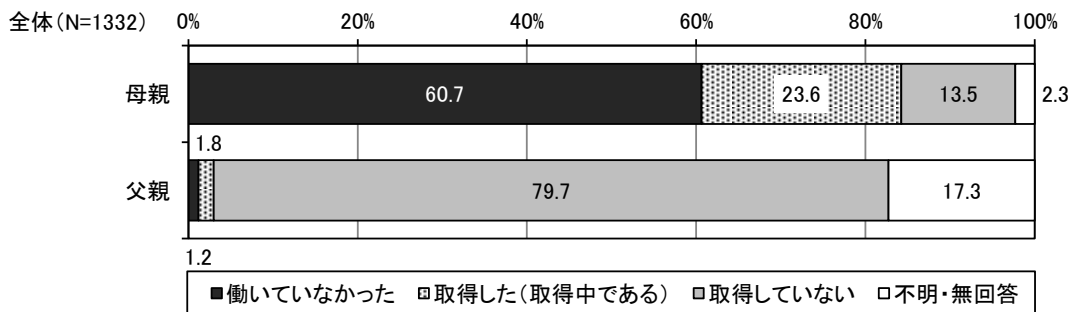
## 10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

○子どもが生まれた時の保護者の育児休業の取得状況について、母親では「働いていなかった」が60.7%、父親では「取得していない」が79.7%と取得した方が非常に少なかったことがうかがえます。父親の「取得していない」理由については、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が39.4%と最も高い一方で、「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が高く、職場環境に課題があることがうかがえます。

○現在育児休業中の方で、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が88.7%と最も高く、家庭の経済的な理由に関わらず、子どもが1歳になるまでは育児に専念したいと考えている方が多いことがうかがえます。

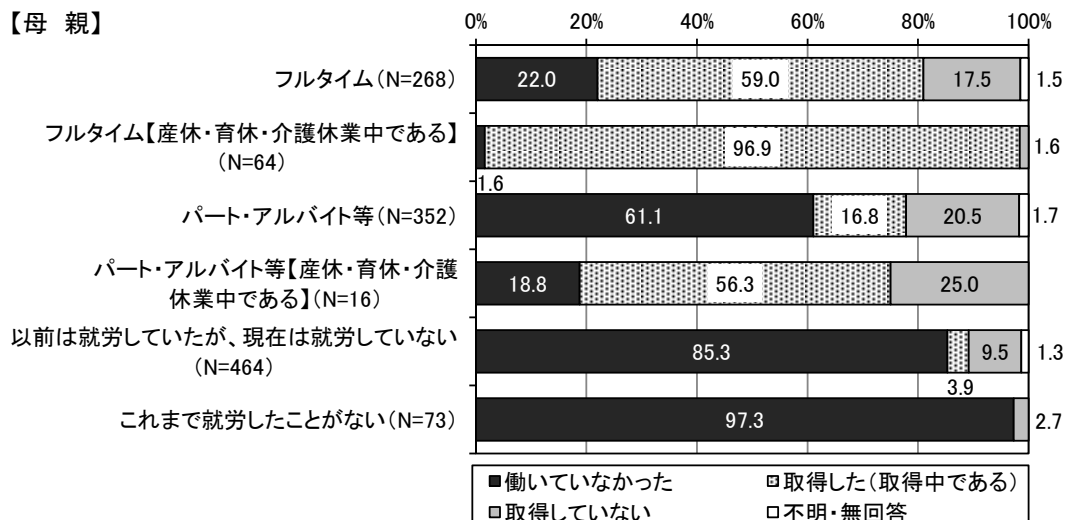
### (1) 子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況〈単数回答〉〔問31〕

子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況についてみると、母親では「働いていなかった」が60.7%、父親では「取得していない」が79.7%と、それぞれ最も高くなっています。また、母親の「取得した（取得中である）」が23.6%、父親では1.8%となっています。



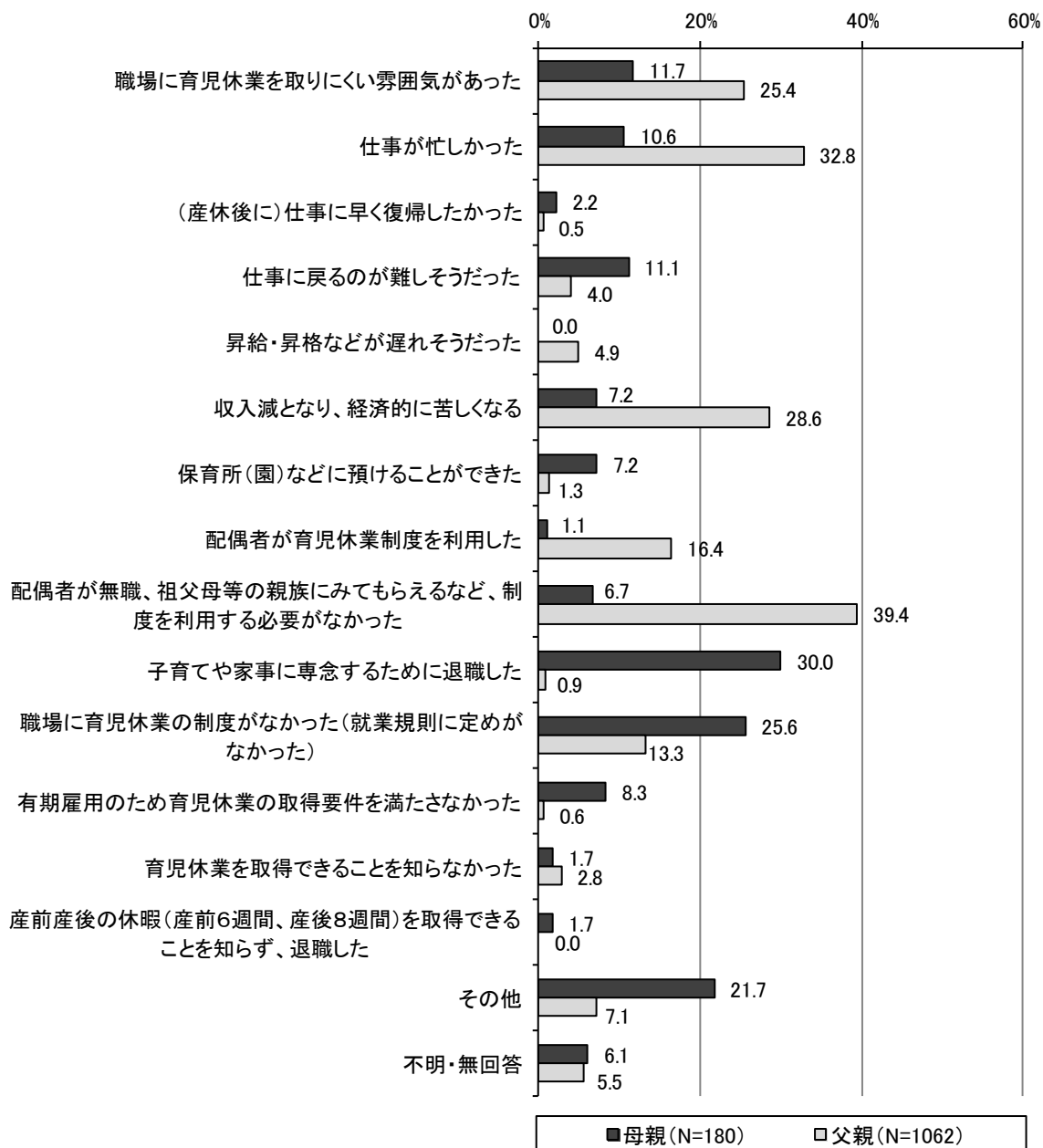
### 母親の就労状況別 × 育児休業取得状況

母親の就労状況をみると、[フルタイム]、[フルタイム【産休・育休・介護休業中である】]、[パート・アルバイト等【産休・育休・介護休業中である】]では、「取得した（取得中である）」の割合が5割を超えています。



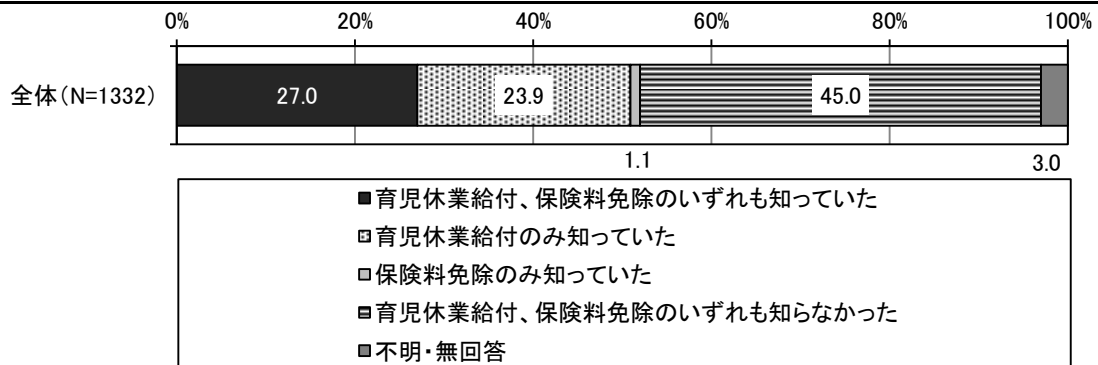
育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」が30.0%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が25.6%となっています。父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が39.4%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が32.8%となっています。

◎取得していない理由〈複数回答〉《「取得していない」を選んだ方》



**(1) - 1 育児休業給付の仕組みや、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度〈単数回答〉** [問 31-1]

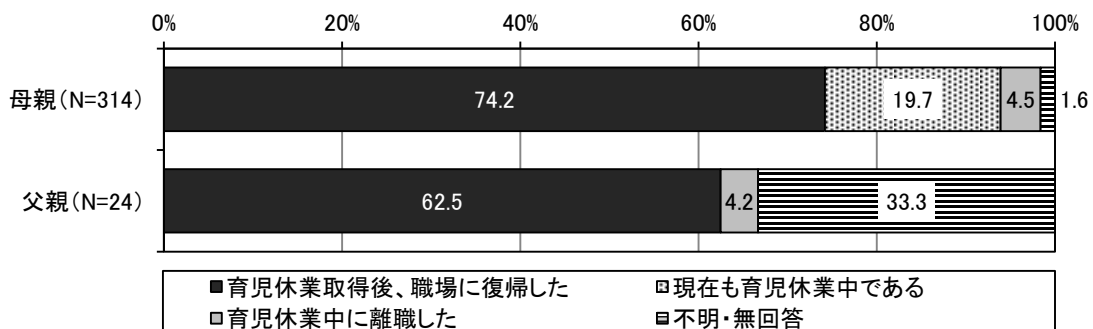
育児休業給付の仕組みや、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度についてみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が45.0%となっています。



**(1) で「取得した（取得中である）」を選んだ方**

**(1) - 2 育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉** [問 31-2]

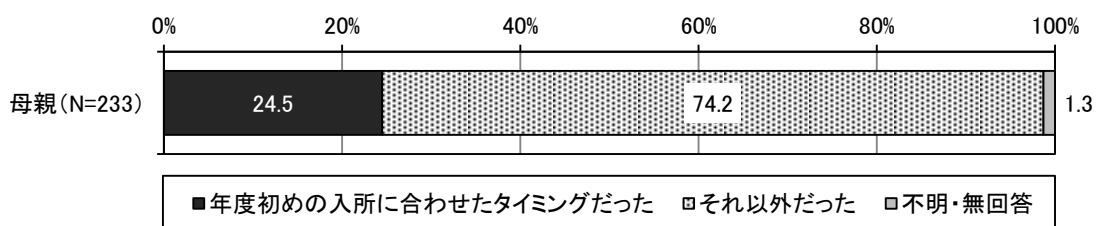
育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」がそれぞれ74.2%、62.5%と最も高くなっています。



**(1) - 2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方**

**(1) - 3 職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか〈単数回答〉** [問 31-3]

職場復帰が、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングかについてみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が24.5%、「それ以外だった」が74.2%となっています。

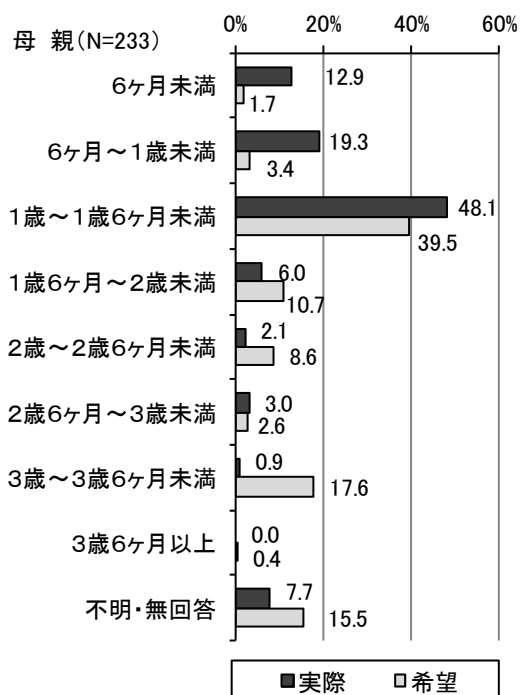


	父親 (N=15)	
	件数	%
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	6.7
それ以外だった	11	73.3
不明・無回答	3	20.0

**(1) - 4 育児休業からは、「実際」に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したか。また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取得したか〈数量回答〉〔問 31-4〕**

育児休業から、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかについてみると、母親では「1歳～1歳6ヶ月未満」が48.1%と最も高くなっています。また、希望としては「1歳～1歳6ヶ月未満」が39.5%と最も高くなっています。

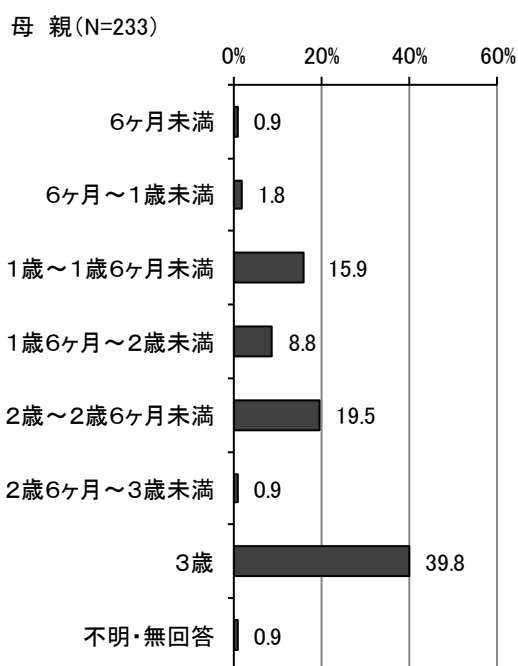
父親 (N=15)	実際		希望	
	件数	%	件数	%
6ヶ月未満	7	46.7	4	26.7
6ヶ月～1歳未満	0	0.0	0	0.0
1歳～1歳6ヶ月未満	2	13.3	2	13.3
不明・無回答	6	40.0	9	60.0



**(1) - 5 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したか〈数量回答〉〔問 31-5〕**

職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかについてみると、母親では「3歳」が39.8%と最も高くなっています。

	父親 (N=15)	
	件数	%
6ヶ月未満	3	20.0
6ヶ月～1歳未満	2	13.3
1歳～1歳6ヶ月未満	1	6.7
1歳6ヶ月～2歳未満	0	0.0
2歳～2歳6ヶ月未満	0	0.0
2歳6ヶ月～3歳未満	1	6.7
3歳	2	13.3
不明・無回答	6	40.0

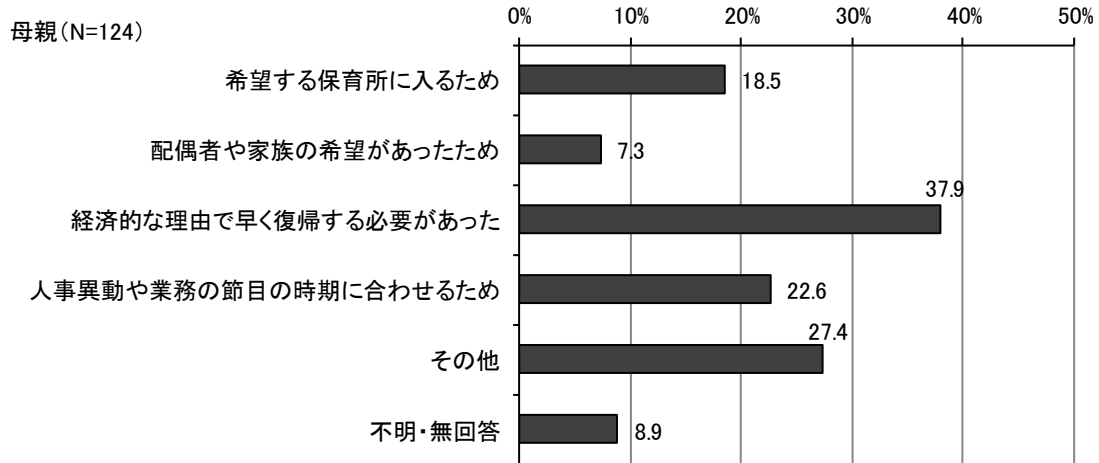


(1) - 4で実際の復帰と希望が異なる方

(1) - 6 希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉〔問 31-6〕

育児休業期間の実際と希望が異なる方の、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてみると、母親で『希望』より早く復帰した方では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が37.9%と最も高くなっています。また、『希望』より遅く復帰した方では「希望する保育所に入れなかったため」が3件となっています。

①「希望」より早く復帰した方



※【父親】「経済的な理由で早く復帰する必要があった」に1件の回答がありました。

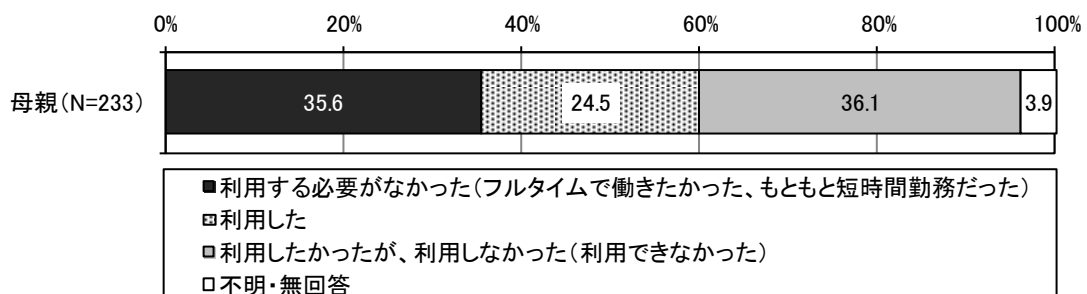
②「希望」より遅く復帰した方

遅く復帰した理由	母親 (N=8)	
	件数	%
希望する保育所に入れなかったため	3	37.5
自分や子どもの体調が思わしくなかったため	0	0.0
配偶者や家族の希望があったため	2	25.0
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0
子どもをみてくれる人がいなかったため	0	0.0
その他	1	12.5
不明・無回答	2	25.0

※【父親】回答はありませんでした。

(1) - 7 職場復帰時の短期勤務制度の利用状況〈単数回答〉〔問 31-7〕

短期勤務制度の利用状況についてみると、母親では「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が36.1%と最も高くなっています。

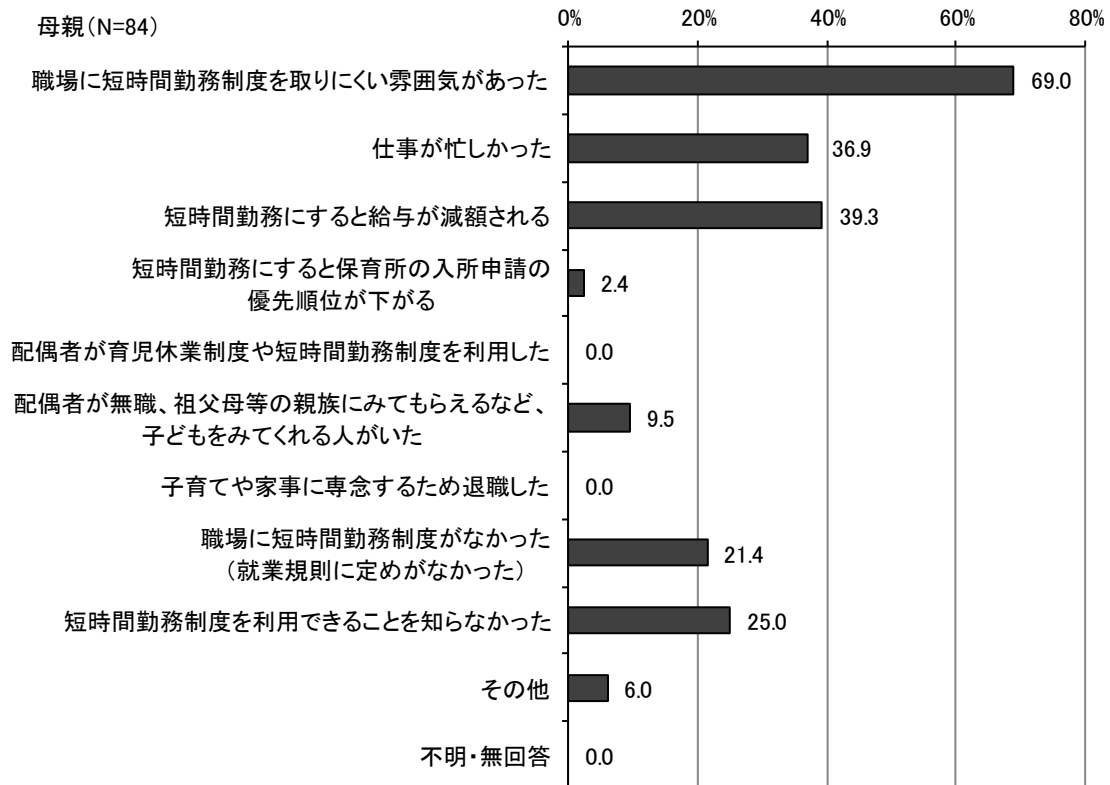


	父親 (N=15)	
	件数	%
利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	6	40.0
利用した	2	13.3
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	1	6.7
不明・無回答	6	40.0

**(1) - 7で「利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ方**

**(1) - 8 短時間勤務制度を利用しなかった理由〈複数回答〉** [問 31-8]

短期勤務制度を利用しなかった理由についてみると、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が69.0%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が39.3%となっています。

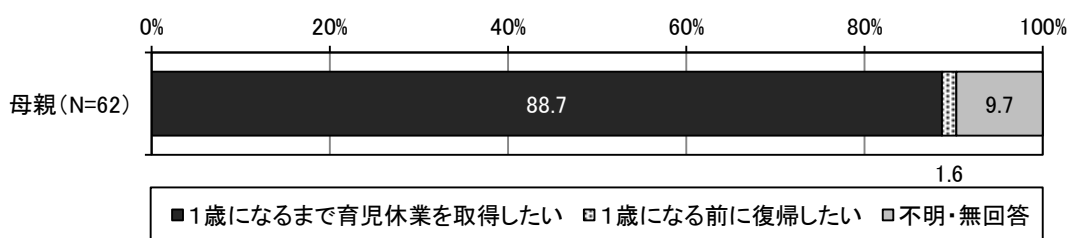


※【父親】「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」でともに1件ずつ回答がありました。

**(1) - 2で「現在も育児休業中である」を選んだ方**

**(1) - 9 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか〈単数回答〉** [問 31-9]

現在も育児休業中の方で、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについてみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が88.7%となっています。



※【父親】回答がありませんでした。

## 11 子育て全般について

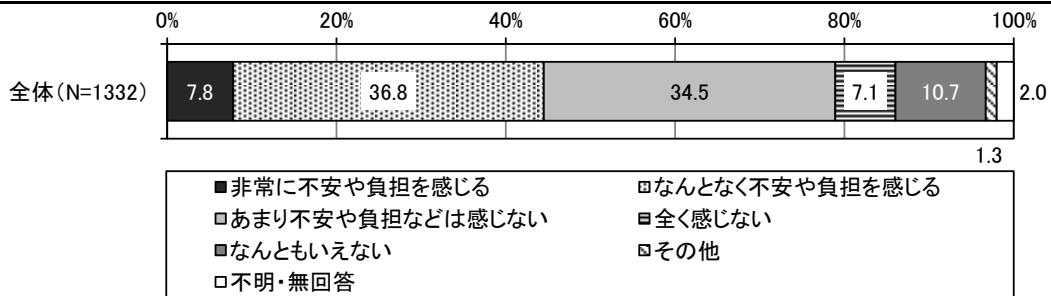
○子育てに関する不安や負担の有無については、「なんとなく不安や負担を感じる」は36.8%と最も高く、「非常に不安や負担を感じる」と合わせると44.6%と、半数近くの方が不安や負担を感じていることがうかがえます。

○子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことの有無について、「子どもの成長をみるのが喜びである」が93.1%と最も高く、次いで「子どもとの交流が楽しい」が77.7%、「家庭の中が明るくなる」が72.3%と、子育てに対して良い感想を持っている方が多いことがうかがえます。

○全国的な傾向として子育てに関する不安や負担を感じている方が多くなっています。「地域の子育て支援事業の利用意向」にもでているように今治市の傾向からも各種相談窓口の認知はしているものの、利用していない傾向も見受けられます。今後の利用希望に関しても高くなっていることから、不安を解消できる身近な相談窓口が必要であると考えられます。また、相談窓口でどのような相談を行っているかを周知し、相談窓口の内容についての啓発を行う必要があります。

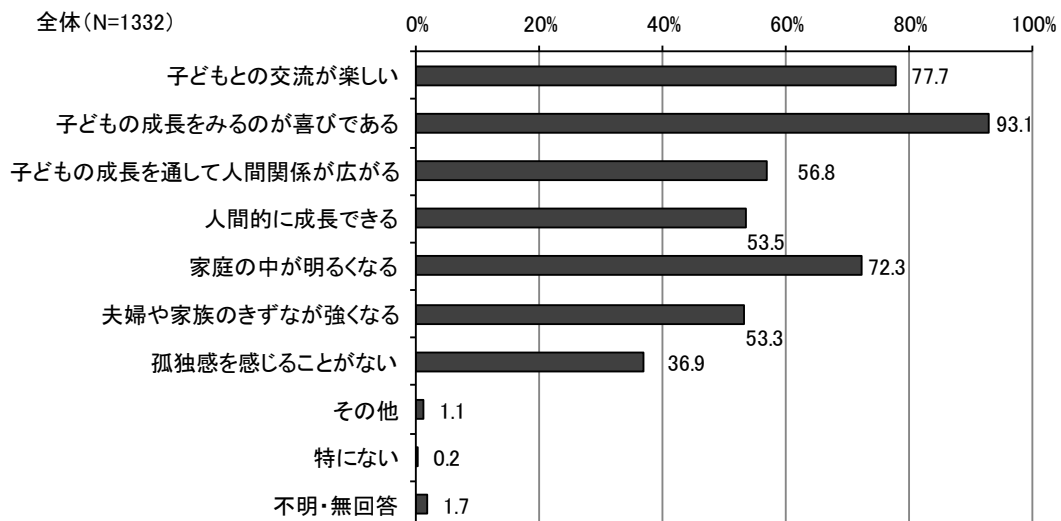
### (1) 子育てに関して不安や負担などを感じているか〈単数回答〉〔問32〕

子育てに関して不安や負担などを感じているかについてみると、「なんとなく不安や負担を感じる」が36.8%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が34.5%となっています。



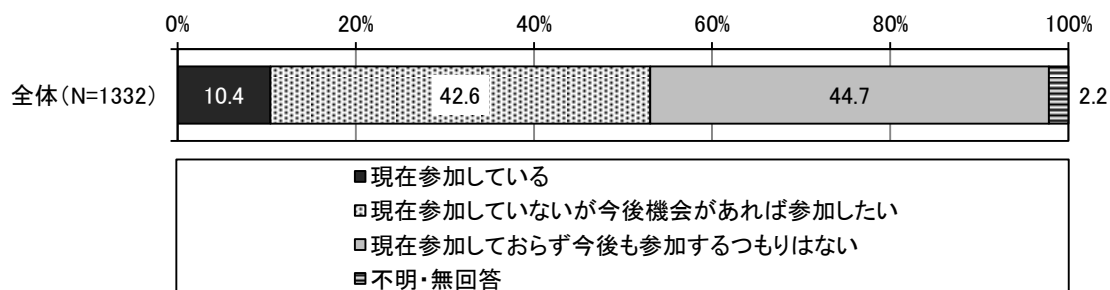
### (2) 子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはあるか〈複数回答〉〔問33〕

子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはあるかについてみると、「子どもの成長をみるのが喜びである」が93.1%と最も高く、次いで「子どもとの交流が楽しい」が77.7%となっています。



### (3) 子育てサークルなど自主的な活動に参加しているか〈単数回答〉〔問 34〕

子育てサークルなど自主的な活動に参加しているかについてみると、「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」が 44.7%と最も高く、次いで「現在参加していないが今後機会があれば参加したい」が 42.6%となっています。





## 12 子育てを支援する生活環境の整備について

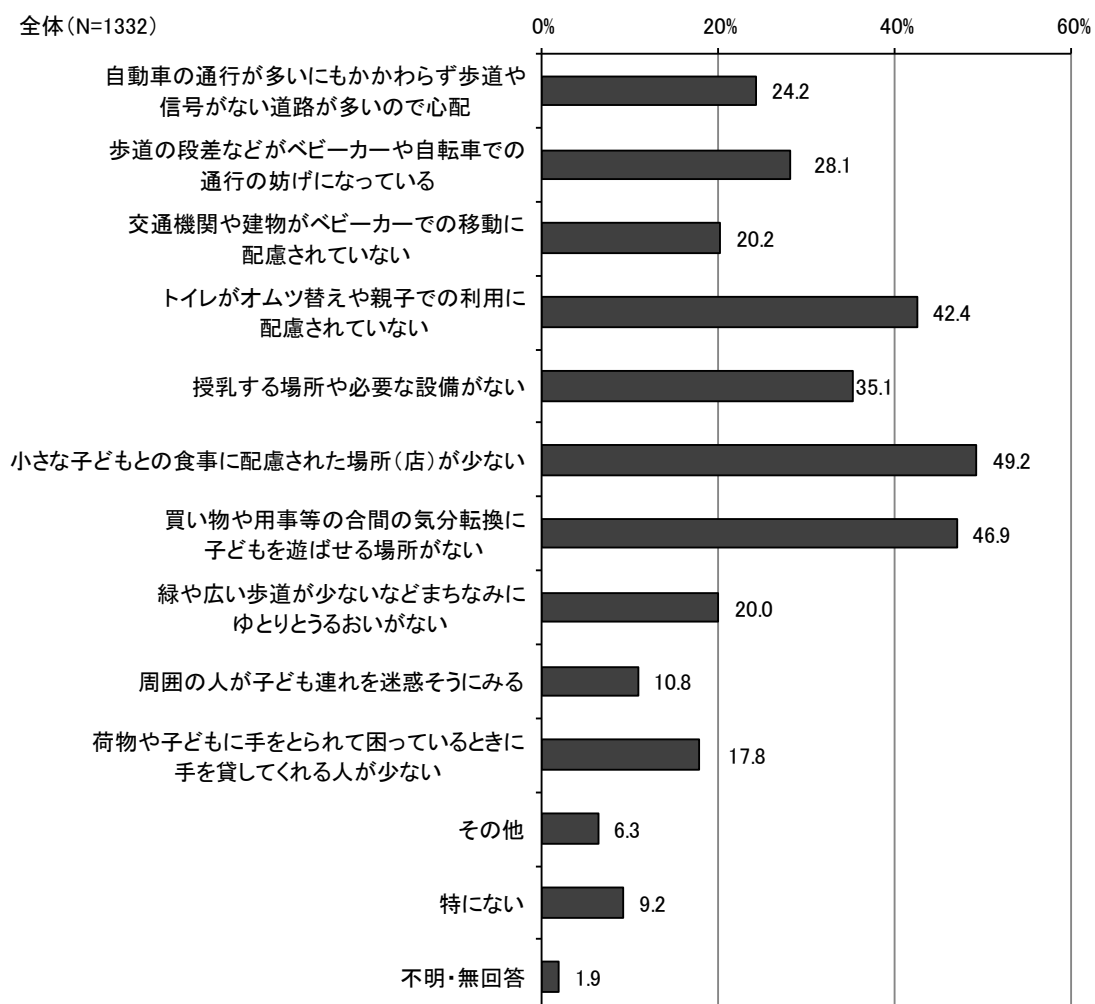
○子どもとの外出の際、困ること・今までに困ったことについて、「小さい子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない」が49.2%と最も高く、次いで「買い物や用事等の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が46.9%、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」が42.4%となっており、施設・設備に対しての不満が高いことがうかがえます。

○居住地域における子どもの遊び場の満足度について、「満足していない」が47.0%となっており、遊び場の感想については、「雨の日に遊べる場所がない」が67.9%と最も高く、天候に関わらず子どもを遊ばせることができる場所が必要とされています。

○「地域の子育て支援事業の利用意向」の結果からもみられるように「園庭開放」や「子育て応援ショップ事業」のニーズも高まっています。こうした結果から、遊び場については今治市の関係各課と連携を行い、情報提供を強化し子育てをしやすいまちづくりを目指す必要があると考えられます。

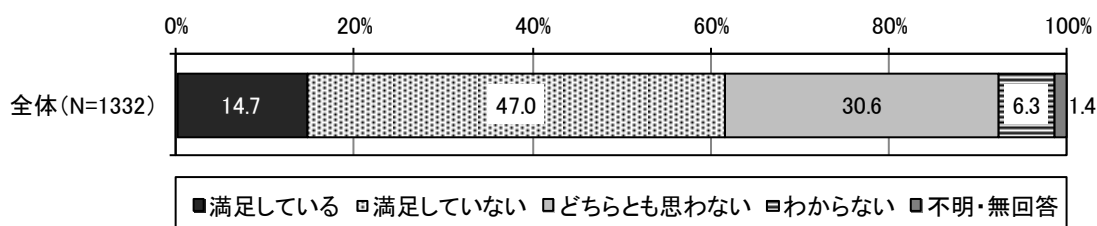
### （1）子どもとの外出の際、困ること・今までに困ったこと〈複数回答〉〔問35〕

子どもとの外出の際、困ること・今までに困ったことについてみると、「小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない」が49.2%と最も高く、次いで「買い物や用事等の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が46.9%となっています。



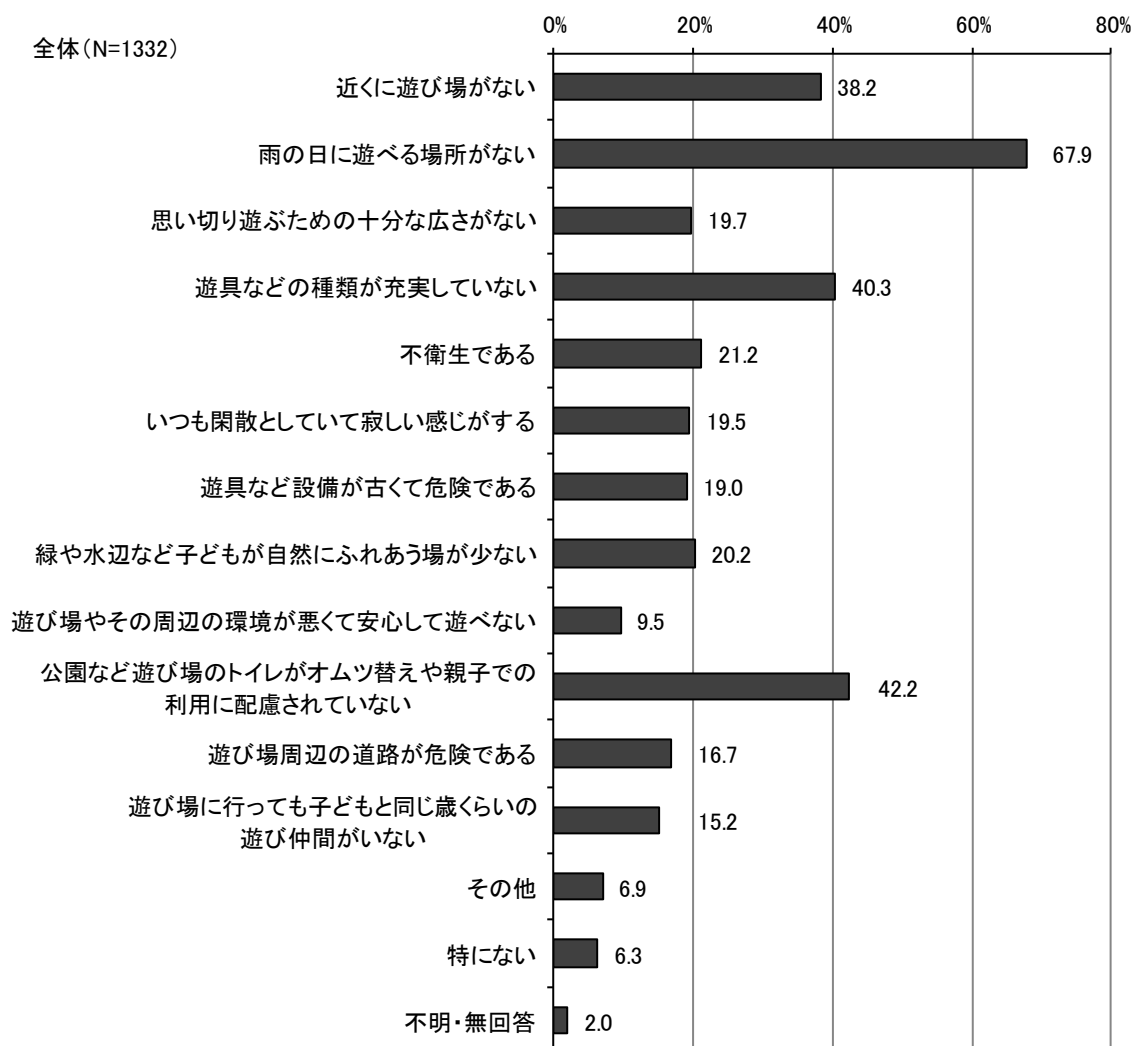
## （２）居住地域における子どもの遊び場の満足度〈単数回答〉〔問 36〕

居住地域における子どもの遊び場の満足度についてみると、「満足していない」が47.0%と最も高く、次いで「どちらとも思わない」が30.6%となっています。



## （３）居住地域の子どもの遊び場について感じること〈複数回答〉〔問 37〕

居住地域の子どもの遊び場を感じることについてみると、「雨の日に遊べる場所がない」が67.9%と最も高く、次いで「公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」が42.2%、「遊具などの種類が充実していない」が40.3%となっています。



## 13 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

○子どもと一緒に過ごす時間について、母親では「十分だと思う」が50.1%と高い一方で、父親では「あまり十分だと思わない」が23.4%となっており、「不十分だと思う」と合わせると41.0%となり、4割の方が十分だと思っていないことがうかがえます。

○仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことについて、「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」が57.3%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が49.8%となっており、子どもの面倒をみることができる時間を必要とされている方が多いことがうかがえます。

○「病気の際の対応について」でも「病児・病後児保育施設等を利用していない」の理由の中に「他人にみてもらうことが不安」とありました。こうした中、仕事と子育てを両立した生活を目指すためには子どもが病気になった際の対応を充実させ、より安心して子ども預けられる体制づくりが求められると考えられます。

また、「子どもと接する時間が少ない」ことに対して、今治市では育児休業制度を活用した方が少ないこともあり、今後も育児休業の仕組みや育児休業に関する相談窓口の設置、企業への呼びかけなどを実施する必要があると考えられます。

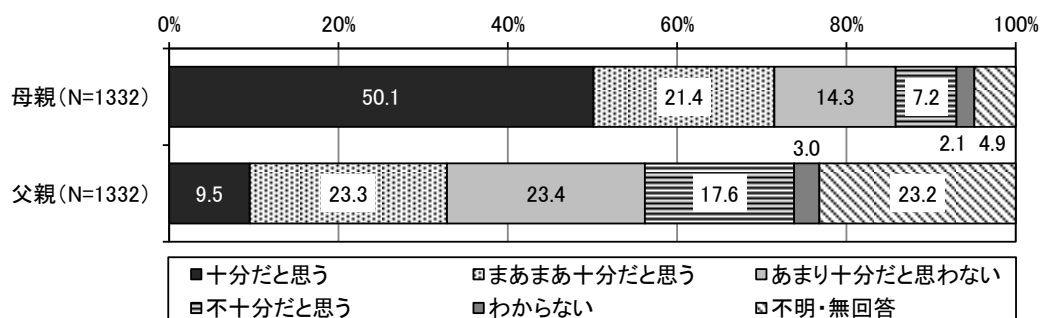
### （1）子どもと一緒に過ごす時間〈数量回答〉〔問38〕

子どもと一緒に過ごす時間についてみると、母親では「5～9時間未満」が29.7%、父親では「1～5時間未満」が46.7%となっています。

また、その時間は十分だと思うかについてみると、母親では「十分だと思う」が50.1%、父親では「あまり十分だと思わない」が23.4%と最も高くなっています。

過ごす時間 (N=1332)	母親		父親	
	件数	%	件数	%
0時間	0	0.0	0	0.0
1時間未満	0	0.0	18	1.4
1～5時間未満	146	11.0	622	46.7
5～9時間未満	396	29.7	208	15.6
9～13時間未満	127	9.5	109	8.2
13～17時間未満	127	9.5	51	3.8
17～21時間未満	67	5.0	7	0.5
21～24時間	390	29.3	5	0.4
不明・無回答	79	5.9	312	23.4

### ◎その時間は十分だと思うか〈単数回答〉



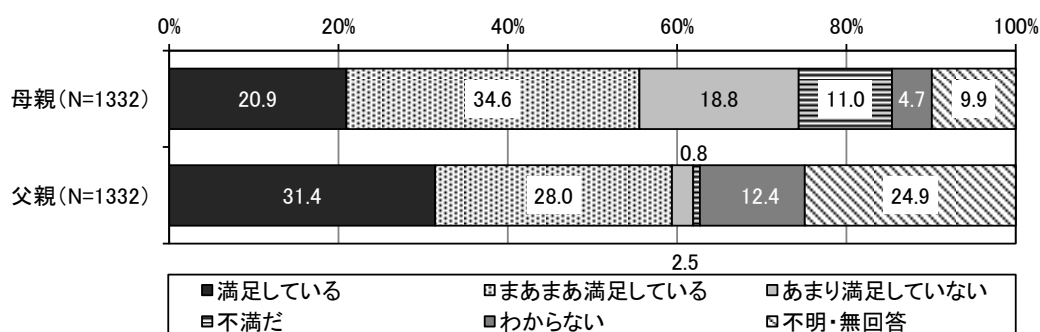
## (2) 1日当たりの家事の時間（1週間の平均的な時間）〈数量回答〉 [問 39]

1日当たりの家事の時間（1週間の平均的な時間）についてみると、母親、父親ともに「1～5時間未満」が53.4%、38.6%と最も高くなっています。

家事の時間 (N=1332)	母親		父親	
	件数	%	件数	%
0時間	0	0.0	0	0.0
1時間未満	0	0.0	453	34.0
1～5時間未満	711	53.4	514	38.6
5～9時間未満	464	34.8	10	0.8
9～13時間未満	59	4.4	5	0.4
13～17時間未満	16	1.2	1	0.1
17～21時間未満	8	0.6	0	0.0
21～24時間	18	1.4	0	0.0
不明・無回答	56	4.2	349	26.2

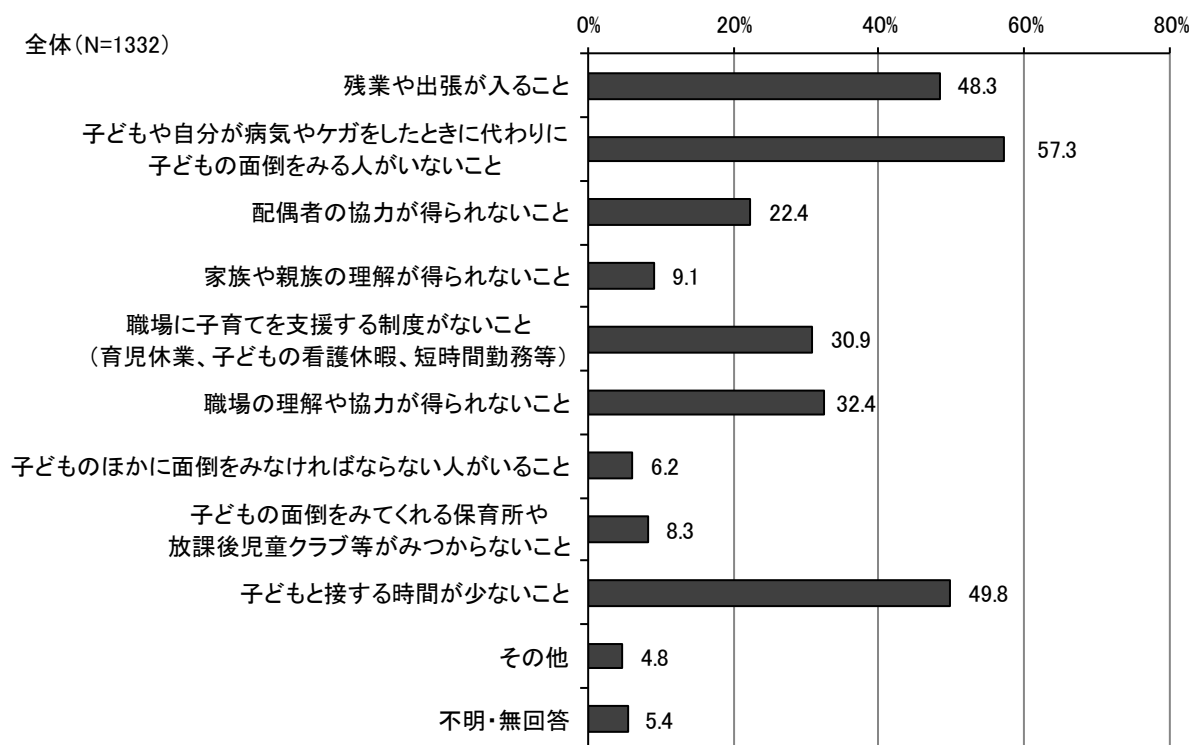
## (3) 配偶者との家事、育児分担への満足度〈単数回答〉 [問 40]

配偶者との家事、育児分担への満足度についてみると、母親では「まあまあ満足している」が34.6%、父親では「満足している」が31.4%とそれぞれ最も高くなっています。



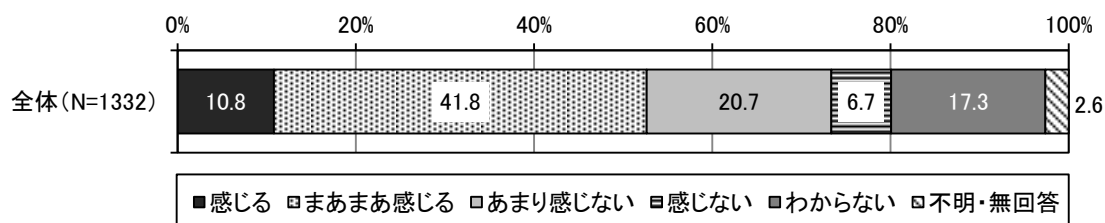
#### (4) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うこと〈複数回答〉〔問41〕

仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことについてみると、「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」が57.3%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が49.8%、「残業や出張が入ること」が48.3%となっています。



#### (5) 家庭において、仕事と生活の調和が図られているか〈単数回答〉〔問42〕

家庭において、仕事と生活の調和が図られているかについてみると、「まあまあ感じる」が41.8%と最も高く、次いで「あまり感じない」が20.7%となっています。

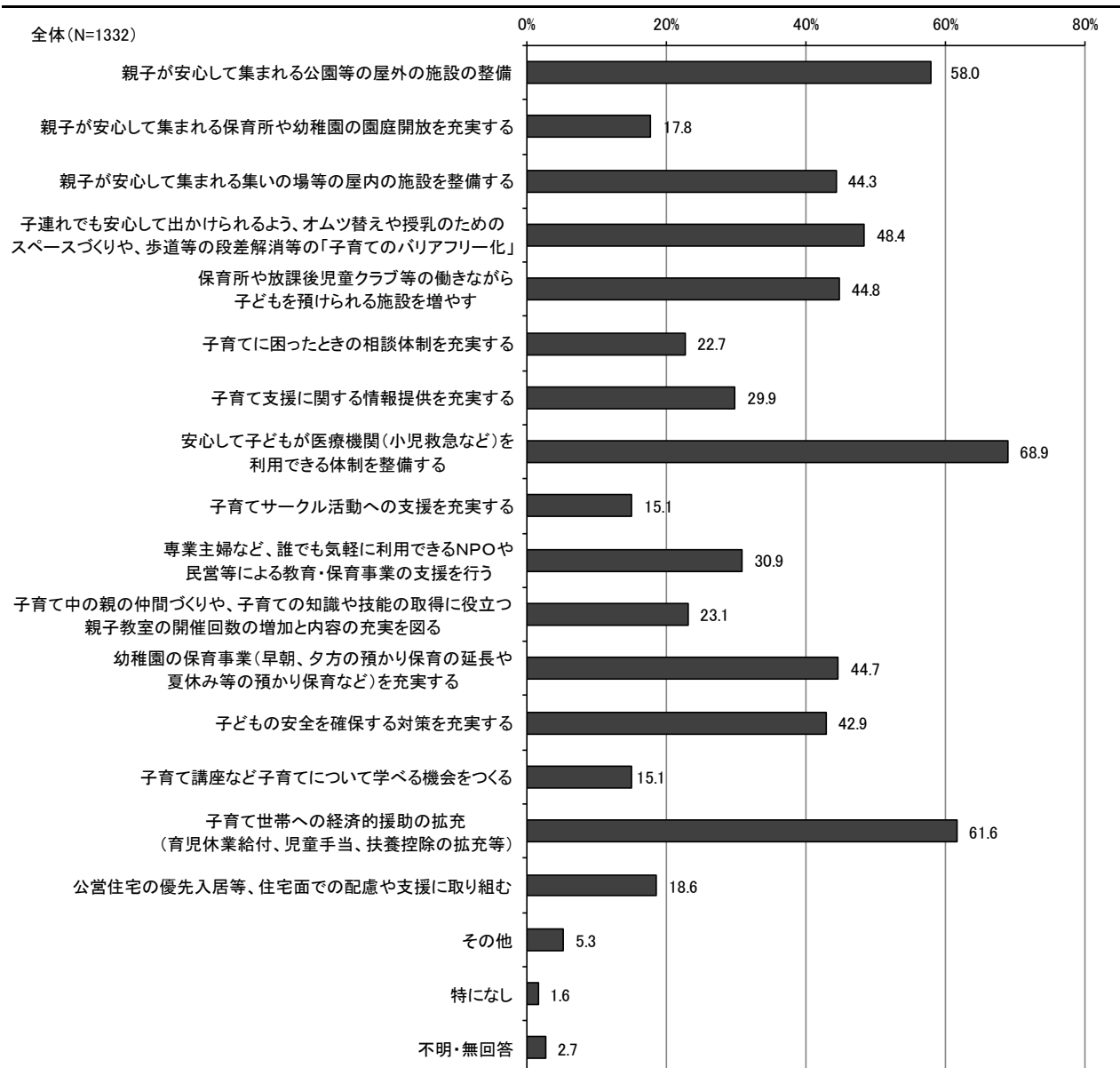


## 14 行政への要望について

○行政に対して充実を図ってほしい支援策について、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」が68.9%と最も高く、次いで「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）」が61.6%、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設の整備」が58.0%となっています。主に施設の整備を望む声が多いほか、保育所や放課後児童クラブ、幼稚園等の保育事業の充実を望む声も多くなっています。

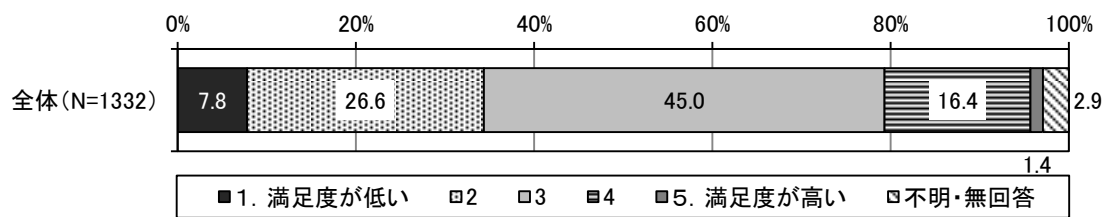
### （1）行政に対して充実を図ってほしい支援策〈複数回答〉〔問43〕

行政に対して充実を図ってほしい支援策についてみると、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」が68.9%と最も高く、次いで「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）」が61.6%、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設の整備」が58.0%となっています。



## (2) 今治市における子育ての環境や支援への満足度〈単数回答〉〔問 44〕

今治市における子育ての環境や支援への満足度についてみると、「3」が45.0%と最も高く、次いで「2」が26.6%となっています。



## 部会の設置について（案）

今治市子ども子育て会議の調査・審議事項は、幼児期の学校教育・保育、放課後児童、地域子ども・子育て支援等多岐にわたっている。

そのため、それぞれの事項を専門的に調査・審議する必要があることから、今治市子ども・子育て会議条例（以下「条例」という。）第 8 条の規定に基づき、次のとおり部会を設置する。

### 1 設置する部会

部会名	調査・審議が必要な事項	具体例
教育・保育部会	幼児教育・保育に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期の学校教育・保育の量の見込み、提供体制の確保の内容及び時期</li> <li>・ 幼児期の学校教育・保育の一体的提供、推進に関する体制の確保の内容及び時期</li> <li>・ 安心して子育て出来る幼児期の学校、教育・保育の充実</li> </ul>

### 2 部会の決議の取扱い

部会の決議を子ども・子育て会議に報告し承認する。

#### <参考>

今治市子ども・子育て会議条例  
（部会）

第 8 条 子ども・子育て会議に、部会を置くことができる。



## 教育・保育部会 検討事項（案）

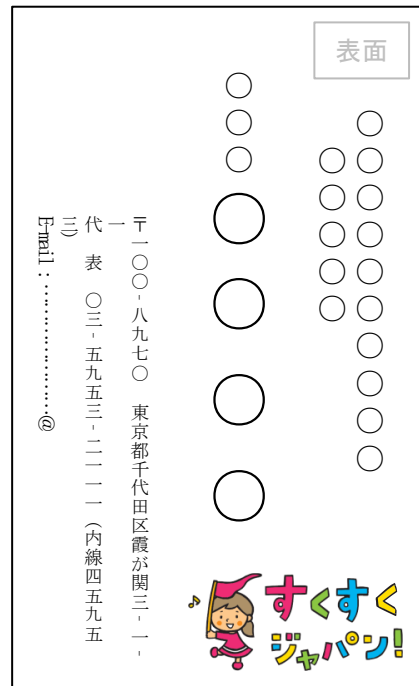
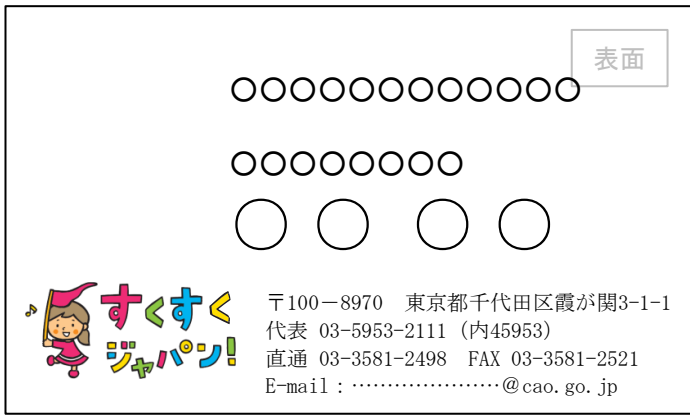
- 認定こども園・幼稚園・保育所・地域型保育事業に関すること。
- 一時預かり事業に関すること。
- 延長保育促進事業に関すること
- 実費徴収に係る補足給付を行う事業に関すること。
- 産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保に関すること。
- その他必要な事項

## 平成 26 年度 教育・保育部会 委員名簿（案）

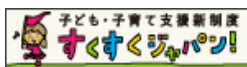
区 分	役職名	氏 名
学識経験者	今治明德短期大学幼児教育学科長	泉 浩 徳
幼稚園関係者	今治私立幼稚園協会会長	森 一 男
	みどり幼稚園理事長	長 野 誠 悟
	今治幼稚園副園長	谷 本 幸 代
保育所関係者	今治市・上島町保育協議会副会長	土 井 圭 子
	志々満保育園理事長	菅 千代美
	清水保育所所長	長 野 千 枝
認定こども園関係者	しまなみの杜認定こども園園長	越 智 瑞 啓
認可外保育施設関係者	今治市医師会保育所エンゼル保育園園長	松 原 緑



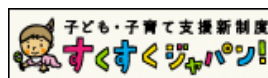
<使用例>



<バナー>



150 × 35



162 × 42

## 特定事業のサービス目標事業量

事業名	策定時 (H21 年度)		H24 年度 (H25 年 3 月 31 日)		現在値 (H25 年 9 月 30 日)		目標 (H26 年度)		
	人	か所	人	か所	人	か所	人	か所	
通常保育事業	3,012 (人/日)	/	2,755 (人/日)	34	2,651 (人/日)	33	3,244 (人/日)	/	
特定保育事業	0 (人/日)	0	0 (人/日)	0	0 (人/日)	0	6 (人/日)	2	
延長保育事業	188 (人/日)	22	69 (人/日)	23	35 (人/日)	23	188 (人/日)	22	
夜間保育事業	0 (人/日)	0	0 (人/日)	0	0 (人/日)	0	0 (人/日)	0	
トワイライトステイ事業 (子育て短期支援事業)	0 (人/日)	0	0 (人/日)	0	0 (人/日)	0	5 (人/日)	1	
休日保育事業	0 (年延人数)	0	246 (年延人数)	1	141 (年延人数)	1	660 (年延人数)	2	
病児・病後児保育事業	0 (年延人数)	0	0 (年延人数)	0	0 (年延人数)	0	600 (年延人数)	1	
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	1,067 (人/日)	24	1,012 (人/日)	29	1,128 (人/日)	29	1,200 (人/日)	34	
放課後こども教室	2,000 (年延人数)	1	2,914 (年延人数)	2	1,544 (年延人数)	2	4,000 (年延人数)	3	
地域子育て支援 拠点事業	センター型	/	3	/	3	/	3	/	5
	ひろば型	/	4	/	5	/	5	/	6
	児童館型	/	0	/	0	/	0	/	0
一時預かり事業	5,508 (年延人数)	11	8,953 (年延人数)	13	4,354 (年延人数)	13	5,808 (年延人数)	13	
ショートステイ事業 (子育て短期支援事業)	/	1	/	1	/	1	/	1	
ファミリー・サポート・センター事業	/	1	/	1	/	1	/	1	

今治市次世代育成支援地域行動計画(後期計画)で目標量を数値化した事業および新規事業

事業名	策定時 (H21 年度)		H24 年度 (H25 年 3 月 31 日)		現在値 (H25 年 9 月 30 日)		目標 (H26 年度)	
	人	か所	人	か所	人	か所	人	か所
子育て応援ヘルパー派遣事業			11 (年延回数)	1	12 (年延回数)	1	90 (年延回数)	1
幼稚園における 預かり保育	344 (人/日)		369 (人/日)		379 (人/日)		401 (人/日)	
家庭的保育 (保育ママ)	0 (人/日)	0	0 (人/日)	0	0 (人/日)	0	12 (人/日)	4
心身障害児放課後等対策事業 (タイムケア)		2		1		0		3
放課後等デイサービス		—		2		2		—
レスパイトサービス事業		2		2		2		3